



超速硬化ウレア・ウレタンゴム系塗膜防水材 スプレーシステム

# NTスプレー カタログ

【改訂第3版】

The background of the lower half of the page is an abstract, high-tech image. It features a central bright white light source from which numerous blue and white light rays emanate, creating a sense of depth and motion. Scattered throughout the scene are various sized, semi-transparent blue spheres that appear to be floating or moving towards the viewer. The overall color palette is dominated by shades of blue, from deep navy to bright cyan, with the central white light providing a focal point.

速く、美しく、確実に。

# 速く美しく確実に——。 防水性能と優れた機能を併せ持つ、 画期的な施工システムです。

より速く、より確実な防水効果をNTスプレーが実現します。

●JIS A 6021 建築用塗膜防水材料 「ウレタンゴム系高伸長形」及び「ウレタンゴム系高強度形」認証品

## NTスプレー タイプS



強度と伸びを両立した万能グレードです。一般防水から開放廊下、金属屋根など幅広く使用できます。

### 荷姿

●ドラム 390kgセット

●石油缶 35kgセット



硬化剤：A液(ポリオール)  
182kg

主剤：B液(イソシアネート)  
200kg

スプレー用トナー  
8kg

硬化剤：A液(ポリオール)  
16.4kg

主剤：B液(イソシアネート)  
18kg

スプレー用トナー  
0.6kg

●JIS A 6021 建築用塗膜防水材料 「ウレタンゴム系高強度形」認証品

## NTスプレー タイプH



強度が優れたグレードです。物性バランスと耐久性により、歩行頻度の高い共用廊下、スタンド、観客席などに最適です。

### 荷姿

●ドラム 390kgセット

●石油缶 35kgセット



硬化剤：A液(ポリオール)  
182kg

主剤：B液(イソシアネート)  
200kg

スプレー用トナー  
8kg

硬化剤：A液(ポリオール)  
16.4kg

主剤：B液(イソシアネート)  
18kg

スプレー用トナー  
0.6kg



## JIS認証製品です。

JIS A 6021 建築用塗膜防水材料 屋根用ウレタンゴム系を認証し、NTスプレー タイプSは「高伸長形」「高強度形」を、NTスプレー タイプHは「高強度形」を取得しています。

## 速硬化性に優れています。

吹付け直後から硬化が始まり3分程度で初期硬化します。液ダレの心配がないため斜面、平面はもちろん、垂直面、球面など複雑な形状でも均一な塗膜厚の確保が可能です。塗膜防水材料の特長である継ぎ目がない、美しく信頼性の高い防水層を形成します。

## 機械化施工で高品質。

専用のスプレーマシンを使用するため、一定条件での施工が可能となり、高品質で安定した防水層の形成が可能です。また、施工の効率化を実現し、工期の大幅短縮が可能です。

## 環境にやさしい特化則非該当塗料です。

NTスプレーシリーズは、シックハウス症候群の原因とされている「ホルムアルデヒド」をはじめ、厚生労働省・室内濃度環境指針値が定められている13の有害化学物質を含まず、環境に配慮して設計した環境配慮型防水材料\*です。また、特定化学物質障害予防規則(特化則)に該当しません。

\*環境配慮仕様とする場合には、全ての工程で環境配慮タイプをお選びいただく必要があります。

## 4色のトナーで防水層を、より美しく彩ります。

### ●スプレー用トナーの色相



▲グレー U-12



▲グリーン U-72



▲ベージュ U-52



▲ホワイト遮熱

●印刷のため、実際の色とは相違があります。ご了承ください。 ●実際の色は別資料の色見本帳をご参照ください。

## 超速硬化で高品質を実現するスプレーマシンを使用。 多様化するニーズに対応します。



### ●施工時のスプレーマシンの設定

	NTスプレー タイプS	NTスプレー タイプH
主剤(B液)	65℃	60℃
硬化剤(A液)	65℃	60℃
ホース	65℃	60℃
設定液圧	10Mpa (100kgf/cm <sup>2</sup> )以上	10Mpa (100kgf/cm <sup>2</sup> )以上

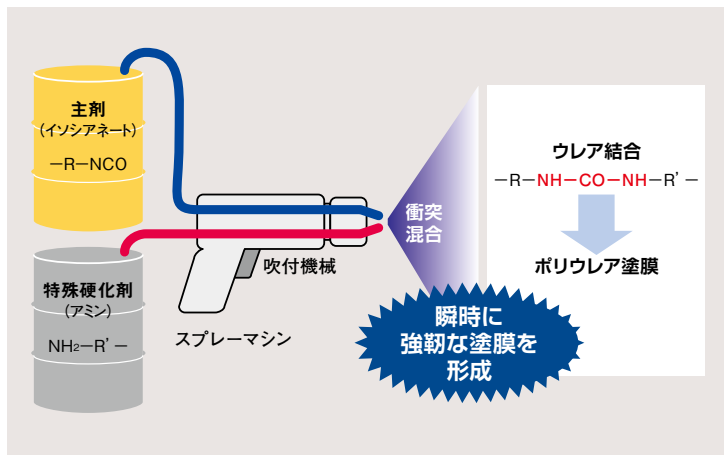
●日本水道協会規格JWWA K 143及び厚生労働省令15号に適合品

# NTスプレー タイプU



主剤のイソシアネート樹脂と特殊硬化剤(アミン)が反応してポリウレア樹脂を形成する、スプレー専用の無溶剤型塗料です。

- 「NTスプレータイプU」は、JIS A 6021屋根用塗膜防水材ウレタンゴム系高強度形に相当する高塗膜物性で、20MPa以上の引張強度、200%以上の伸びなど優れた引張特性を有する塗膜を形成します。
- 塗膜硬度は、NTスプレーの中でも一番高く、強靱な塗膜を發揮します。
- 耐酸性、耐アルカリ性、耐塩素性に優れます(ただし、紫外線や次亜塩素酸ナトリウム水溶液には変色しますが、物性低下はありません)。
- 日本水道協会規格JWWA K 143及び厚生労働省令15号に適合品し配水池、浄水池、貯水槽、沈砂池、ろ過池、受水槽、養殖場などに使用可能です。



※「NTスプレータイプU」の上水関連での使用方法につきましては、別カタログ「NTスプレータイプU」のカタログをご確認ください。

## 色相



▲ブルー



▲グレー

- 印刷のため、実際の色とは相違があります。ご了承ください。
- 実際の色は別資料の色見本帳をご参照ください。

## 工法

- PMM工法(防食層2mm厚 ガードブルーフィルター仕様)
- ERP工法(防食層2mm厚 パテ仕様)

## 荷姿

- ドラム 410kgセット
- ペール缶 41kgセット



硬化剤：A液(アミン)  
200kg



主剤：B液(イソシアネート)  
210kg



硬化剤：A液(アミン)  
20kg



主剤：B液(イソシアネート)  
21kg

## ●施工時のスプレーマシンの設定

主剤(B液)	75℃
硬化剤(A液)	75℃
ホース	75℃
設定液圧	5Mpa (50kgf/cm <sup>2</sup> )以上





試験項目	JIS A 6021:2011 屋根用塗膜防水材 ウレタンゴム系			NTスプレータイプU
	高強度形			
引張性能	引張強さ N/mm <sup>2</sup>	試験時温度 23℃	10以上	23
		試験時温度 -20℃	10以上	31
		試験時温度 60℃	6.0以上	19
	破断時の伸び率 %	試験時温度 23℃	200以上	265
		試験時温度 23℃	700以上	1219
	破断時のつかみ間の伸び率 %	試験時温度 23℃	120以上	158
試験時温度 -20℃		100以上	118	
試験時温度 60℃		100以上	181	
引裂性能	引裂強さ N/mm		30以上	86

※当社試験結果であり、塗膜物性を保証するものではありません。

### ■NTスプレータイプU JWWA K 143 塗膜試験

	規格	NTスプレータイプU	
		ERP工法	PMM工法
外観	しわ・たるみ・割れ・へこみがない。	しわ・たるみ・割れ・へこみがない。	しわ・たるみ・割れ・へこみがない。
付着強さ N/mm <sup>2</sup>	標準状態 1.5以上 吸水状態 1.2以上	標準状態 2.8 吸水状態 2.8	標準状態 2.4 吸水状態 2.5
耐衝撃	割れ・剥がれがない。	割れ・剥がれがない。	割れ・剥がれがない。
耐アルカリ性	膨れ・割れ・剥がれがない。	膨れ・割れ・剥がれがない。	膨れ・割れ・剥がれがない。
透水性 g	透水量 0.2以下	透水量 0.0	透水量 0.0
塩化物イオン透過度 mg/cm <sup>2</sup> ・日	1.0×10 <sup>-3</sup> 以下	定量限界(0.32×10 <sup>-3</sup> )以下	定量限界(0.32×10 <sup>-3</sup> )以下
低温・高温繰り返し	割れ・剥がれがない。	割れ・剥がれがない。	割れ・剥がれがない。

### ■耐薬品性(6ヶ月浸漬)

薬品	耐久性
10%硫酸水溶液	○
20%硫酸水溶液	○
5%塩酸水溶液	○
10%塩酸水溶液	○
1%硝酸水溶液	○
5%硝酸水溶液	△
1%過塩素酸水溶液	○～△
5%過塩素酸水溶液	△～×
1%次亜塩素酸水溶液	○～△
20%クエン酸水溶液	○
1%酢酸水溶液	○
5%酢酸水溶液	○
飽和水酸化カルシウム水溶液	○
48%水酸化ナトリウム水溶液	○
20%水酸化カリウム水溶液	○
10%アンモニア水溶液	○

※試験方法: 自社試験法による。耐薬品に対する塗膜物性を保証するものではありません。

### ■溶出試験試験成績書

#### ●JWWA K 143



▲NTコンクリート  
防食プライマーJ

▲塗継プライマー

▲ガードブルーフ

▲NTスプレータイプU

#### ●厚生労働省令15号



# さまざまな用途に対応するため、多彩な工法を用意しています。

## ■各種工法の概要と掲載ページ

**NM** 工法 ..... ●掲載ページ=7~8  
[密着工法]

一般的な密着工法で、複雑な形状にもシームレスな仕上がりが可能です。

**NN** 工法 ..... ●掲載ページ=9~10  
[通気緩衝工法]

屋根防水に最適な、通気緩衝シートを用いた工法です。コンクリート下地からの水分に起因するフクレと、クラック発生に起因する防水層破断を防ぎます。

**NK** 工法 ..... ●掲載ページ=11  
[機械的固定工法]

さまざまな既存下地に対して、大がかりな処理を必要としない防水が可能な工法です。また、防水層の撤去が不要なため、改修工事に伴う省力化や廃材の発生を削減できます。

**NKD** 工法 ..... ●掲載ページ=12  
[機械的固定・断熱・遮熱工法]

既存下地の撤去が不要なNK工法に、断熱材による躯体の熱劣化抑制と高反射率塗料を組み合わせることで、外断熱と防水層の温度上昇抑制による延命効果が期待できます。

**ND** 工法 ..... ●掲載ページ=15  
[断熱・遮熱工法]

断熱材による躯体の熱劣化抑制と、高反射率塗料による防水層の温度上昇抑制効果を組み合わせることで、外断熱と防水層の延命効果が期待できます。

**NP** 工法 ..... ●掲載ページ=16  
[PCタンク工法]

PCタンクなどの傾斜角が大きな場所でも、膜厚確保可能な信頼性の高い工法です。

**NY** 工法 ..... ●掲載ページ=17~18  
[金属屋根・防水・遮熱・遮音工法]

金属屋根に対して、シームレスな防水塗膜を被覆できる工法です。防水機能に加え、美観の回復とともに、防錆・遮熱・遮音効果を付与します。

### 工法記号の見方

工法記号の例:

**N** **M** - **SS** **20** **G**

用途・目的に応じた性能を付与できます。また、さまざまな組み合わせが可能です。

#### ●NTスプレー全工法共通

#### ●工法の種類

- M** : 密着工法
- N** : 通気緩衝工法
- K** : 機械的固定工法
- KD** : 機械的固定・断熱・遮熱工法
- D** : 断熱・遮熱工法
- P** : PCタンク工法
- Y** : 金属屋根・防水・遮熱・防音工法
- U** : 塗り床工法
- S** : 競技場スタンド工法
- C** : 駐車場防水工法
- F** : 複合防水工法
- H** : 保護モルタル工法

#### ●防水層の種類

- SS** : NTスプレー タイプS ※①
- SH** : NTスプレー タイプH ※①
- D** : ブルーフロンエコDX ※②  
ブルーフロンエコDX NS ※②
- V** : ブルーフロンバリュー ※③  
ブルーフロンバリュー-NS ※③
- HG** : ブルーフロンエコHG ※④  
ブルーフロンエコHG NS ※④
- I** : ブルーフロンエコONE II ※③  
ブルーフロンエコONE NS II ※③
- SU** : NTスプレー タイプU ※①

#### ●防水材の使用量

<b>15</b> : 1.5kg/㎡	2.0kg/㎡
<b>16</b> : 1.6kg/㎡	2.1kg/㎡
<b>17</b> : 1.7kg/㎡	2.3kg/㎡
<b>20</b> : 2.0kg/㎡	2.6kg/㎡
<b>25</b> : 2.5kg/㎡	3.3kg/㎡
<b>27</b> : 2.7kg/㎡	3.6kg/㎡
<b>30</b> : 3.0kg/㎡	3.9kg/㎡
<b>32</b> : 3.2kg/㎡	4.2kg/㎡
<b>35</b> : 3.5kg/㎡	4.6kg/㎡
<b>37</b> : 3.7kg/㎡	4.9kg/㎡
<b>40</b> : 4.0kg/㎡	5.2kg/㎡
<b>60</b> : 6.0kg/㎡	7.8kg/㎡

防水層の種類  
※①

防水層の種類  
※②

# NU

工法

●掲載ページ=19

[塗り床工法]

機械的物性やクラックの追従性に優れ、シームレスな仕上がりがりとなり躯体を保護します。小面積から大面積まで幅広く適用され、超速硬化の特性を活かした短時間での開放が可能となります。

# NS

工法

●掲載ページ=20

[競技場スタンド工法]

競技場スタンドなど複雑な形状でも、シームレスで高強度な施工が可能です。水密性に優れ、下地の挙動によく追従し、躯体を保護します。

# NC

工法

●掲載ページ=21

[駐車場防水工法]

押さえコンクリートやアスファルトコンクリートが不要な露出防水工法です。メンテナンス性に優れ、屋根の軽量化と工期短縮に貢献できます。

# NH

工法

●掲載ページ=21

[保護モルタル工法]

浴室やトイレなど、RC構造下地の水回りに使用する保護モルタル(別途工事が必要です)工法です。屋上にも施工可能です。

# NF

工法

●掲載ページ=22

[複合防水工法]

高強度の塗膜性能と、良好な伸び性能を実現した工法です。強力な下地ひび割れ追従性と歩行に耐えられる高い耐摩耗性を有しています。

官公庁仕様

JASS8仕様

UR都市機構仕様

●掲載ページ=23~24

試験成績一覧

●掲載ページ=24

製品一覧

●掲載ページ=25~28

各部位の納まり

●掲載ページ=29~35

脱気筒の施工

●掲載ページ=36

注意事項

●掲載ページ=37~39

## ● トップコートの種類

2.1kg/㎡	1.8kg/㎡
2.3kg/㎡	2.0kg/㎡
2.4kg/㎡	2.1kg/㎡
2.8kg/㎡	2.4kg/㎡
3.5kg/㎡	3.0kg/㎡
3.8kg/㎡	3.3kg/㎡
4.2kg/㎡	3.6kg/㎡
4.5kg/㎡	3.9kg/㎡
4.9kg/㎡	4.2kg/㎡
5.2kg/㎡	4.5kg/㎡
5.6kg/㎡	4.8kg/㎡
8.4kg/㎡	7.2kg/㎡

防水層の種類  
※③

防水層の種類  
※④

**F** : ブルーフロンGRトップフッ素 高耐候

**S** : ブルーフロンGRトップ遮熱 遮熱

**G** : ブルーフロンGRトップ

**T** : ブルーフロンGRトップ艶消しT

**GE** : ブルーフロンGRトップエコ 環境配慮

**EFS** : ブルーフロンEGトップ4F遮熱 環境配慮 遮熱 高耐候

**EF** : ブルーフロンEGトップ4F 環境配慮 高耐候

**ES** : ブルーフロンEGトップSi 環境配慮 高耐候

**WS** : ブルーフロンエコ水性GRトップ遮熱 環境配慮 遮熱

**WG** : ブルーフロンエコ水性GRトップ 環境配慮

**WE** : ブルーフロンエコ水性トップ 環境配慮

**WP** : ブルーフロン水性上塗シルバー 環境配慮

**PS** : スーパーパラサーモシリコン 遮熱 高耐候

**PSS** : スーパーパラサーモシリコンS 遮熱 高耐候

**FT** : ユータックFT

**WFT** : 水性ユータックFT 環境配慮

**UTR** : ユータックR

**UTS** : ユータックS

**空欄** : トップコートなし

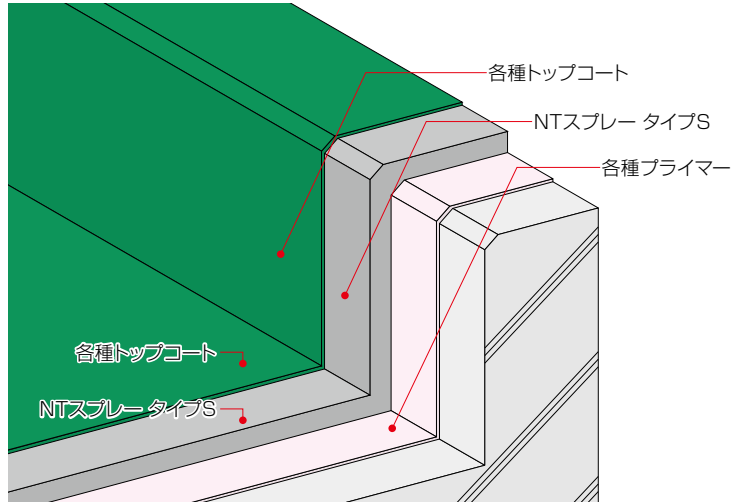
# NM工法 [密着工法]

## 用途

- ベランダ、バルコニー
- ひさし、パラペット
- 役物の多い屋根防水
- 開放廊下
- 屋上スポーツ床など

NM工法は一般的なウレタン塗膜防水材の密着工法で、複雑な形状に簡単に対応し、シームレスな仕上がりが得られます。

### ●NM-SS20の施工例(屋根防水)



### ●特化則非該当仕様(屋外限定)例



工法名	工程	①	②	③
NM-SS20G	各種プライマー 0.2kg/m <sup>2</sup>		NTスプレー タイプS 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>
NM-SS30G	各種プライマー 0.2kg/m <sup>2</sup>		NTスプレー タイプS 3.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>
NM-SS20G 立上り	各種プライマー 0.2kg/m <sup>2</sup>		NTスプレー タイプS 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>

### ●環境配慮・特化則非該当・低臭仕様例



工法名	工程	①	②	③
NM-SS20WG	ブルーフロンエコ水性プライマー ホワイト 0.2kg/m <sup>2</sup>		NTスプレー タイプS 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ水性GRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>
NM-SS30WG	ブルーフロンエコ水性プライマー ホワイト 0.2kg/m <sup>2</sup>		NTスプレー タイプS 3.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ水性GRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>
NM-SS20WG 立上り	ブルーフロンエコ水性プライマー ホワイト 0.2kg/m <sup>2</sup>		NTスプレー タイプS 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンエコ水性GRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>







## ●NM-SS20の施工例(ベランダ、解放廊下)



## ●環境配慮・特化則非該当仕様例



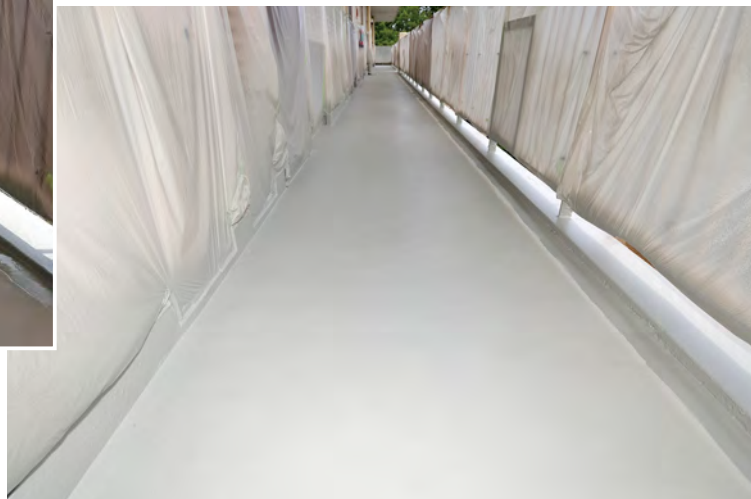
工法名	工程	①	②	③
<b>NM-SS20GE</b>	NTエコプライマー-U 0.2kg/m <sup>2</sup>		NTスプレー タイプS 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップエコ 0.2kg/m <sup>2</sup>

### 【NM工法の特記事項】

- 各工法の使用量は、上記以外にも変更可能です。
- NTスプレーは、NTスプレー タイプS、NTスプレー タイプHから選定できます。
- 施工例については、一般的な納まり施工例となります。その他の納まりについてはお問い合わせください。

### 【NM工法の注意事項】

- 既存下地に防水層や塗り床材などがある場合は、事前に最寄りの営業所にお問い合わせください。状況に応じて、適した下地処理方法とプライマーの選定が重要となります。
- 必要に応じ、脱気装置の設置を行なってください。
- 作業手順は、一般施工仕様書をご参照ください。
- 歩行頻度が高い場合などは、保護塗料の摩耗が発生いたします。定期的な点検と保護塗料の塗り替えを行ない、防水層を長持ちさせることをお勧めいたします。
- 下地がコンクリート面で1層目に手塗りのウレタン塗膜防水を施工するNF工法をご採用いただくと、下地からのピンホールを軽減することができます。
- 遮熱タイプ、特注色、淡彩色のトップコートを選定した場合、隠蔽性確保のため2回塗りとなる場合があります。
- ブルーフロンEGトップ4F遮熱を2回塗りする場合、1層目はブルーフロンEGトップ4F遮熱の代わりにブルーフロンGRトップ遮熱を使用できます。



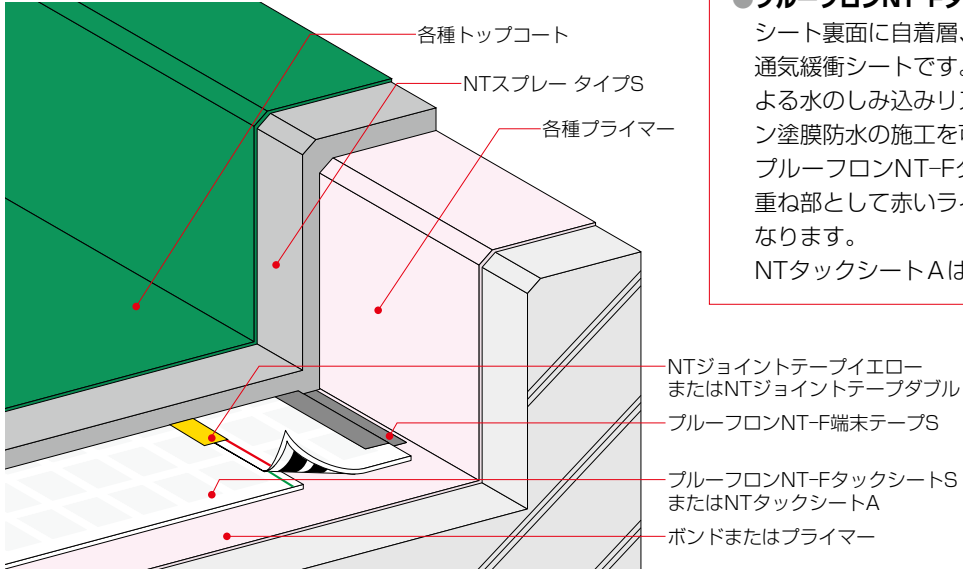
# NN工法 [通気緩衝工法]

**用途**

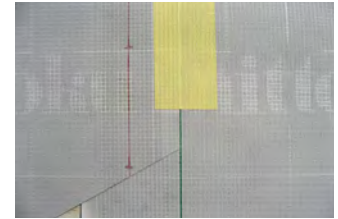
- 一般屋上
- 屋上スポーツ床など

NN工法は屋根防水に最適な通気緩衝シートを用いた防水工法で、長期にわたる防水性能があります。下地の動きに対応でき、下地の水分を拡散して脱気筒から放出し、防水層のフクレを抑制する工法です。

## ●NN-SS30の施工例(ブルーフロンNT-FタックシートS)



**●ブルーフロンNT-FタックシートS、NTタックシートAの特長**  
シート裏面に自着層、シート表面に特殊フィルムを加工した通気緩衝シートです。表面の特殊フィルムは、突然の降雨による水のしみ込みリスクを低減し、プライマーなしでウレタン塗膜防水の施工を可能にします。ブルーフロンNT-FタックシートSの張り合わせは、長辺を重ね部として赤いラインが上になります。短辺は突き付けとなります。NTタックシートAは、長辺、短辺ともに突き付けとなります。



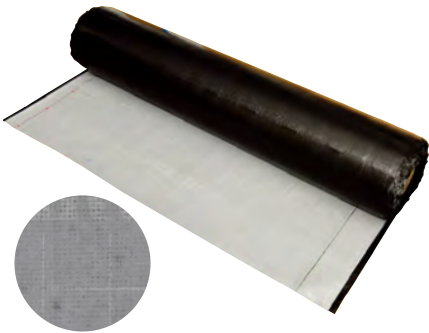
## ●特化則非該当仕様(屋外限定)・自着層付きシート仕様例



工法名	工程	①	②	③	④
<b>NN-SS20G</b>	接着剤 (ボンドまたはプライマー)	ブルーフロンNT-FタックシートS またはNTタックシートA	NTスプレー タイプS 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>	
<b>NN-SS30G</b>	接着剤 (ボンドまたはプライマー)	ブルーフロンNT-FタックシートS またはNTタックシートA	NTスプレー タイプS 3.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>	
<b>NM-SS20G 立上り</b>	各種プライマー 0.2kg/m <sup>2</sup>	NTスプレー タイプS 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>		

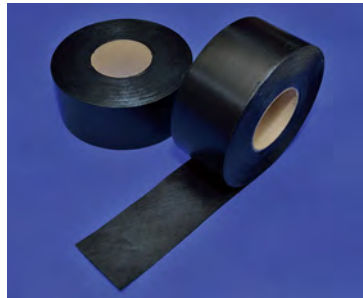
### ●ブルーフロンNT-FタックシートS (自着層付きタイプ)

●荷姿: 厚さ1.5mm×幅1.04m×長さ15.7m/巻



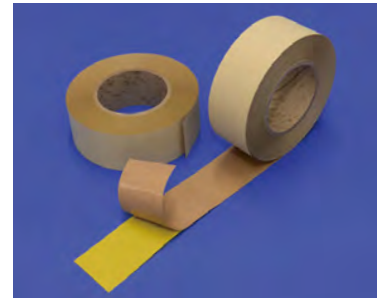
### ●ブルーフロンNT-F端末テープS

●荷姿: 幅75mm×長さ25m/巻  
1本単位



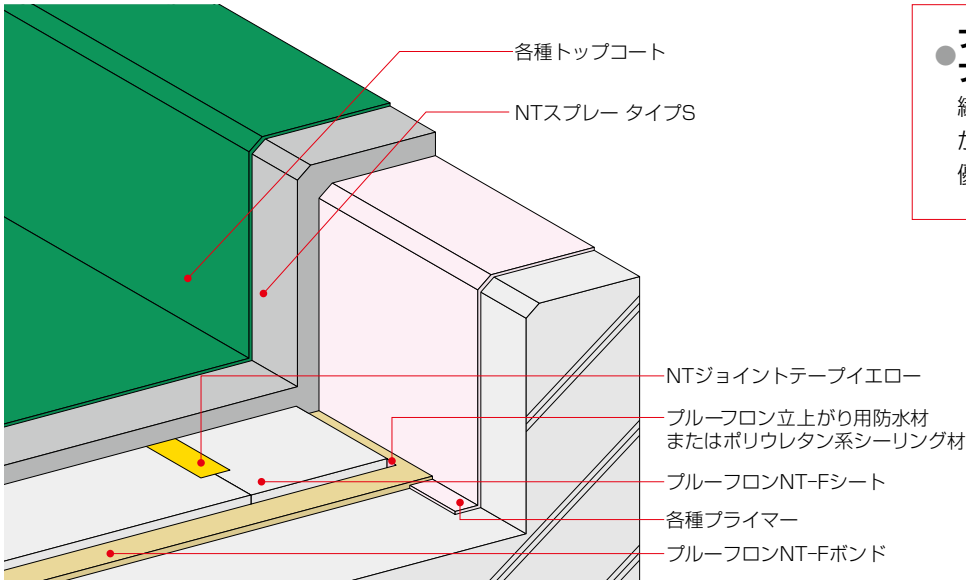
### ●NTジョイントテープ イエロー

●荷姿: 幅50mm×長さ50m/巻  
1本単位





## ●NN-SS30の施工例(ブルーフロンNT-Fシート)



**ブルーフロンNT-Fシート、  
ブルーフロンNT-Fシート#2の特長**  
繊維マットを主成分としているため伸びがあり、下地の動きに対し、対応能力に優れた通気緩衝シートです。

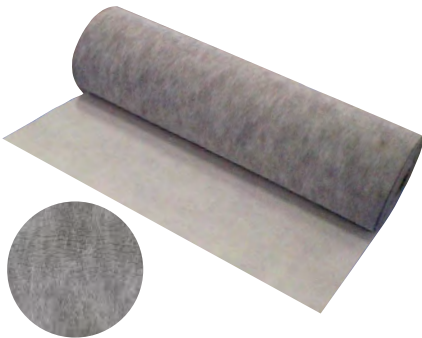
## ●特化則非該当仕様(屋外限定)・不織布張り付けシート仕様例



工法名	工程	①	②	③	④
<b>NN-SS20G</b>		ブルーフロンNT-Fボンド 0.6~0.8kg/m <sup>2</sup> (下地0.3kg、シート0.3kg)	ブルーフロンNT-Fシートまたは ブルーフロンNT-Fシート#2	NTスプレー タイプS 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>
<b>NN-SS30G</b>		ブルーフロンNT-Fボンド 0.6~0.8kg/m <sup>2</sup> (下地0.3kg、シート0.3kg)	ブルーフロンNT-Fシートまたは ブルーフロンNT-Fシート#2	NTスプレー タイプS 3.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>
<b>NM-SS20G 立上り</b>		各種プライマー 0.2kg/m <sup>2</sup>	NTスプレー タイプS 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>	

### ●ブルーフロンNT-Fシート(不織布張り付けタイプ)

●荷姿：厚さ3.0mm×幅1.15m×長さ30m/巻



### ●ブルーフロンNT-Fシート#2(不織布張り付けタイプ)

●荷姿：厚さ1.4mm×幅1.0m×長さ25m/巻



### 【NN工法の特記事項】

- 各工法の使用量は、上記以外にも変更可能です。
- NTスプレーは、NTスプレー タイプS、NTスプレー タイプHから選定できます。
- 施工例については、一般的な納まり施工例となります。その他の納まりについてはお問い合わせください。

### 【NN工法の注意事項】

- ブルーフロンNT-Fシート、ブルーフロンNT-Fシート#2を張り付ける際に降雨にあいまいと、シートに水分を含むことになります。必ずウレタン塗膜防水材を施工し、雨仕舞いを行なったうえで作業を終了してください。また、ブルーフロンNT-FタックシートS、NTタックシートAについても、シート端部の雨仕舞いを行なってください。
- 必要に応じ、脱気装置の設置を行なってください。
- 自着層付きタイプのシートをご採用いただいた場合、自着層の模様が浮き出る場合がありますが防水性能に問題はありません。あらかじめご了承ください。**
- 作業手順は、一般施工仕様書をご参照ください。
- 歩行頻度が高い場合などは、保護塗料の摩耗が発生いたします。定期的な点検と保護塗料の塗り替えを行ない、防水層を長持ちさせることをお勧めいたします。
- 下地がコンクリート面で1層目に手塗りのウレタン塗膜防水を施工するNF工法をご採用いただくと、下地からのピンホールを軽減することができます。
- シート張り付け後、**接着剤の硬化時間を十分に設けてください。接着剤の硬化不十分の場合、防水層施工後にシートの浮きが発生します。**
- 遮熱タイプ、特注色、淡彩色のトップコートを選定した場合、隠蔽性確保のため2回塗りとなる場合があります。
- ブルーフロンEGトップ4F遮熱を2回塗りする場合、1層目はブルーフロンEGトップ4F遮熱の代わりにブルーフロンGRトップ遮熱を使用できます。



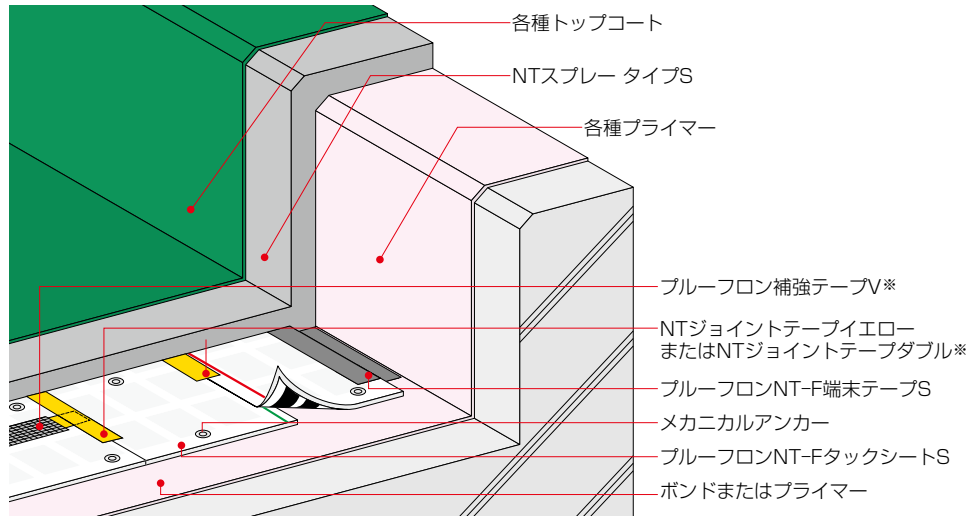
# NK 工法 [機械的固定工法]

●プライマーやトップコートあるいは接着剤は、下記以外も使用いただけます。一覧表より状況に応じたプライマーを選択ください。一覧表は右のQRコードからのリンクもしくはホームページをご確認ください。



NK工法は、既存のさまざまな既存下地でも大がかりな処理を必要とせずに施工できるため、下地処理の省力化や廃材の削減ができることが最大の特長です。

## ●NK-SS30の施工例



\*NTジョイントテープダブルを使用する場合は、ブルーフロン補強テープVは省略できます。

### 用途

- 一般屋上など

## ●特化則非該当仕様(屋外限定)例



工法名	工程	①	②	③	④	⑤
NK-SS20G		※下地状況によりボンドまたはプライマーまたは下地処理材もしくはは不要	ブルーフロンNT-FタックシートS	メカニカルアンカー	NTスプレー タイプS 2.0kg/㎡	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡
NK-SS30G		※下地状況によりボンドまたはプライマーまたは下地処理材もしくはは不要	ブルーフロンNT-FタックシートS	メカニカルアンカー	NTスプレー タイプS 3.0kg/㎡	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡
NM-SS20G 立上り		各種プライマー 0.2kg/㎡	NTスプレー タイプS 2.0kg/㎡	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡		

### [NK工法の特記事項]

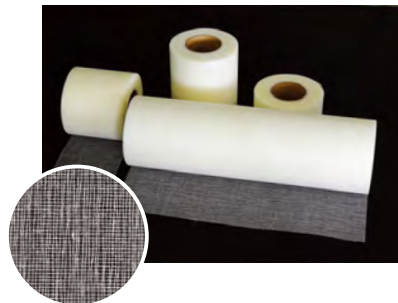
- 各工法の使用量は、上記以外にも変更可能です。
- NTスプレーは、NTスプレー タイプS、NTスプレー タイプHから選定できます。
- 施工例については、一般的な納まり施工例となります。その他の納まりについてはお問い合わせください。

### [NK工法の注意事項]

- ブルーフロンNT-FタックシートSの長辺の重ね部は赤いラインが上となります。短辺は突き付けとなります。
- 必要に応じ、脱気装置の設置を行なってください。
- 作業手順は、一般施工仕様書をご参照ください。
- 歩行頻度が高い場合などは、保護塗料の摩耗が発生いたします。定期的な点検と保護塗料の塗り替えを行ない、防水層を長持ちさせることをお勧めいたします。
- 下地の状況やALC下地の場合など、現地で測定したメカニカルアンカーの引き抜き強度が充分でない場合は別途、最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 下地がコンクリート面で1層目に手塗りのウレタン塗膜防水を施工するNF工法をご採用いただくと、下地からのピンホールを軽減することができます。
- 遮熱タイプ、特注色、淡彩色のトップコートを選定した場合、隠蔽性確保のため2回塗りとなる場合があります。
- ブルーフロンEGトップ4F遮熱を2回塗りする場合、1層目はブルーフロンEGトップ4F遮熱の代わりにブルーフロンGRトップ遮熱を使用できます。
- 自着層の模様は浮き出ることがありますが防水性能に問題はございません。あらかじめご了承ください。

### ●ブルーフロン補強テープV (粘着剤付き)

- 荷姿：幅10cm×長さ50m/巻  
幅14cm×長さ50m/巻  
幅20cm×長さ50m/巻  
幅30cm×長さ50m/巻  
幅50cm×長さ50m/巻



### ●メカニカルアンカー40、70、100

- 荷姿：つば30mm×長さ40mm、70mm、100mm 500本/箱

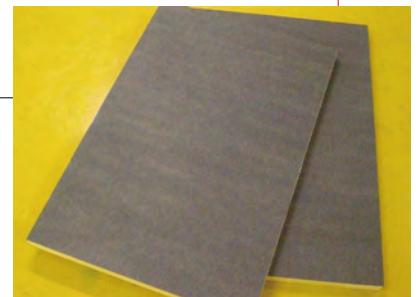
※100mmは受注生産品です。



### ●ブルーフロン硬質断熱材(硬質断熱材)

- 荷姿：  
・25mm厚 厚さ25×幅605×長さ910mm 20枚梱包  
・30mm厚 厚さ30×幅605×長さ910mm 17枚梱包  
・35mm厚 厚さ35×幅605×長さ910mm 14枚梱包  
・50mm厚 厚さ50×幅605×長さ910mm 10枚梱包

※20mm、40mm厚も準備可能ですが、最低発注枚数は約600枚になります。条件がございますので、最寄りの営業所までお問い合わせください。



# NKD

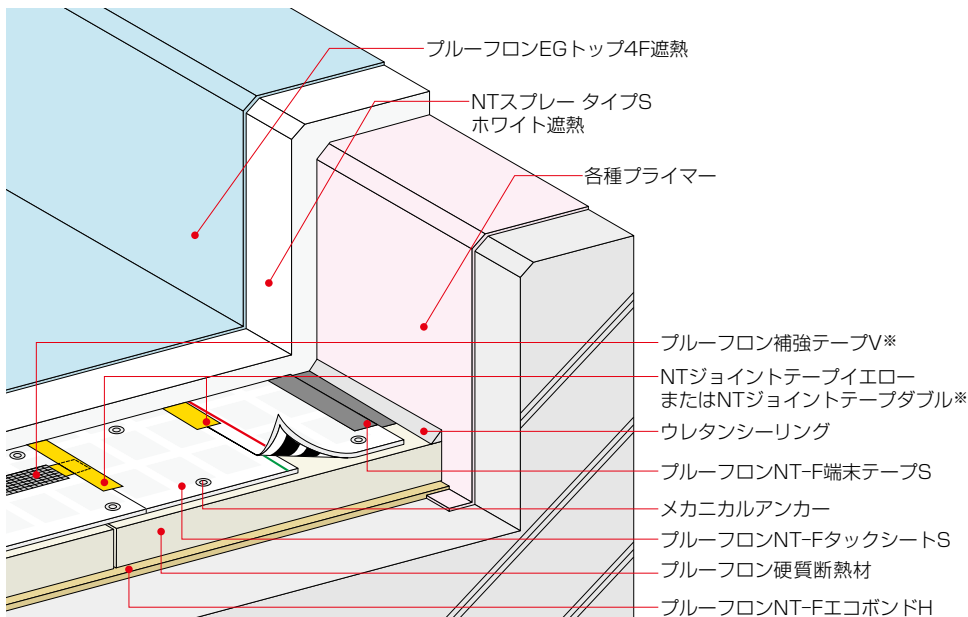
## 工法 [機械的固定・断熱・遮熱工法]

●プライマーやトップコートあるいは接着剤は、下記以外もご使用いただけます。一覧表より状況に応じたプライマーを選択ください。一覧表は右のQRコードからのリンクもしくはホームページをご確認ください。



NKD工法は「ブルーフロンNT-FタックシートS」を「メカニカルアンカー」で下地に固定する機械的固定工法と断熱材を組み合わせ、さらに遮熱性を付与した工法です。

### ●NKD-SS30EFSの施工例



※NTジョイントテープダブルを使用する場合は、ブルーフロン補強テープVは省略できます。

#### 用途

- 一般屋上など

### ●特化則非該当・環境配慮高耐候仕様例



工法名	工程	①	②	③	④	⑤	⑥
<b>NKD-SS30EFS</b>		ブルーフロンNT-FエコボンドH 0.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン硬質断熱材	ブルーフロンNT-FタックシートS	メカニカルアンカー	NTスプレー タイプS ホワイト遮熱 3.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンEGトップ4F遮熱 0.15kg/m <sup>2</sup> ×2回
<b>NM-SS20EFS 立上り</b>		各種プライマー 0.2kg/m <sup>2</sup>	NTスプレー タイプS ホワイト遮熱 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンEGトップ4F遮熱 0.15kg/m <sup>2</sup> ×2回			

#### [NKD工法の特記事項]

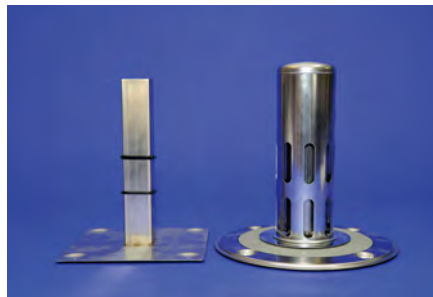
- 各工法の使用量は、上記以外にも変更可能です。ただし、平場は使用量3.0kg/m<sup>2</sup>以上となります。
- NTスプレーは、NTスプレー タイプS、NTスプレー タイプHから選定できます。
- 施工例については、一般的な納まり施工例となります。その他の納まりについてはお問い合わせください。

#### [NKD工法の注意事項]

- ブルーフロンNT-FタックシートSの長辺の重ね部は赤いラインが上となります。短辺は突き付けとなります。
- 下地の状況やALC下地の場合など、現地で測定したメカニカルアンカーの引き抜き強度が充分でない場合は別途、最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 必要に応じ、脱気装置の設置を行なってください。
- 作業手順は、一般施工仕様書をご参照ください。
- 歩行頻度が高い場合などは、保護塗料の摩耗が発生いたします。定期的な点検と保護塗料の塗り替えを行ない、防水層を長持ちさせることをお勧めいたします。
- 遮熱タイプ、特注色、淡彩色のトップコートを選定した場合、隠蔽性確保のため2回塗りとなる場合があります。
- ブルーフロンEGトップ4F遮熱を2回塗りする場合、1層目はブルーフロンEGトップ4F遮熱の代わりにブルーフロンGRトップ遮熱を使用できます。
- 下地がコンクリート面で1層目に手塗りのウレタン塗膜防水を施工するNF工法をご採用いただくと、下地からのピンホールを軽減することができます。
- 着層の様子が浮き出る場合がありますが防水性能に問題はありませぬ。あらかじめご了承ください。
- 寒暖差が大きい時期は、断熱材の影響により、表面が結露しやすいため、トップコートの施工時間帯を考慮し、必要に応じて「ブルーフロン溶剤系トップコート硬化促進剤」または「溶剤トップコート硬化促進剤×5」をご使用ください。

#### ●ダモ脱気筒一般用(丸型)コア付き

- 付属品(1組につき) :  
プラグレスアンカー(径4mm×35mm) 8本  
補強クロス1枚
- 荷姿:  
ダモ脱気筒一般用(丸型)・ステンレス製  
コア付 1ケース2組入り

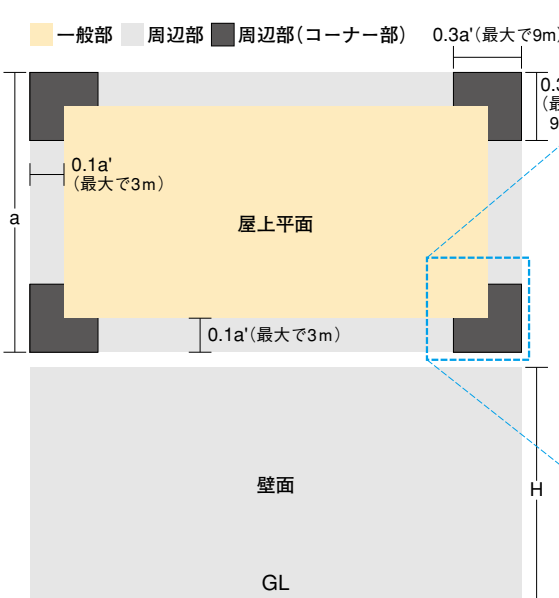


# NTスプレーNK/NKD工法耐風圧性について (標準アンカーピン固定数と割付)

NTスプレーNK/NKD工法は機械的固定ですので強風により、防水層が飛ばされないようにするために適切な割付によるアンカーピンの固定が必要です。

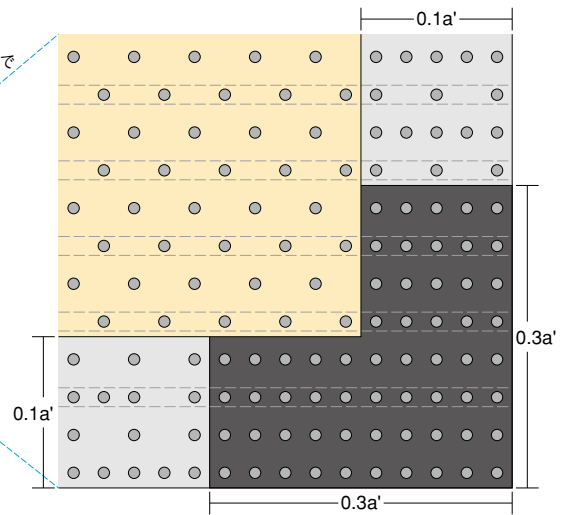
## ●屋根面にかかる風圧力

屋上で風が吹いたときには、防水層を上引き上げる力が働きます。その力は屋根面の部位により、強さが異なります。力の強さは一般部<周辺部<コーナー部の順に風圧が強くなります。したがって、部位によって必要なメカニカルアンカーピンの割付数が異なります。



H: 建築物の高さと軒の高さの平均(m)  
a': 平面の短辺長さ(a)とHの2倍の数値のうち、いずれか小さい数値 (ただし、30mを超える場合は、30mとする)

## ●メカニカルアンカーピンの割付図(代表例)



【アンカー標準固定数】

●一般部：2個/㎡ ●周辺部：3個/㎡ ●コーナー部：4個/㎡

基準風速の強い地域や海岸沿い、高層の建物など、強風にさらされる建物では風圧力が増加するため、標準固定数では十分な安全率が確保できない場合がありますので、最寄りの営業所へご相談ください。

## ●NTスプレーNK/NKD工法の耐風圧性

NTスプレーNK/NKD工法は耐風圧計算に基づき、最適な割付数量を設定しています。

### ■耐風圧性の計算

建築基準法・建築基準法施工令(第82条の5)・告示(平12建告第1454号・1458号)「屋根ふき材および野外に面する帳壁の風圧に対する構造体力上の安全性を確めるため構造計算の基準を定める件」に基づき、下記設定条件において耐風圧性能の計算を行ないます。

#### ●設定条件

耐風圧性を計算する際の標準的なモデルを設定します。

- 建物の高さ(H): 30m
- 勾配: 1/100
- 建物の短辺方向の長さ(a): 50m
- 地表面粗度区分: Ⅲ (標準的な地域が該当)

#### ●風圧力の計算方法

屋根にかかる風圧力は平成12年建設省告示1458号に定める計算式により求められます。

$$W=q \times C_f \quad W: \text{風圧力(N/㎡)} \quad q: \text{平均速度圧(N/㎡)} \quad C_f: \text{ピーク風圧係数}$$

平均速度圧は次式で求められます。

$$q=0.6 \times E_r^2 \times V_o^2 \quad E_r: \text{平均速度の高さ方向の分布を表す係数} \quad V_o: \text{基準風速}$$

基準風速は、全国の市町村単位で細かく分類し、その土地で吹く風の基準として30~46mの8段階に分類されています。代表例として、基準風速38m/sを用いて風圧力を計算します。

#### ●風圧力の計算結果

	固定力 N/㎡(A)
一般部	-2,118
周辺部	-2,710
コーナー部	-3,642

#### ●メカニカルアンカー引き抜き強度

	モルタル
埋め込み深さ(mm)	30
強度(N/本)	2,450N

\*標準モルタル下地となります。

#### ●NTスプレーNK/NKD工法の安全率

	風圧力の計算結果 固定力 N/㎡(A)	下地モルタル面		風速38m/sの場合の 安全率B÷A×100
		アンカー本数/㎡	固定力 N/㎡(B)	
一般部	-2,118	2本	4,900N	231%
周辺部	-2,710	3本	7,350N	271%
コーナー部	-3,642	4本	9,800N	269%

### ■NTスプレーNK/NKD工法の安全率

※必要な耐風圧力は一般的に対象建物の風圧力に対し、2倍の安全率をみています。

※施工面(屋上)は、一般部、周辺部、コーナー部に分類されます。それぞれの係数に応じて、㎡当たりの使用固定金具数の計算が必要となります。

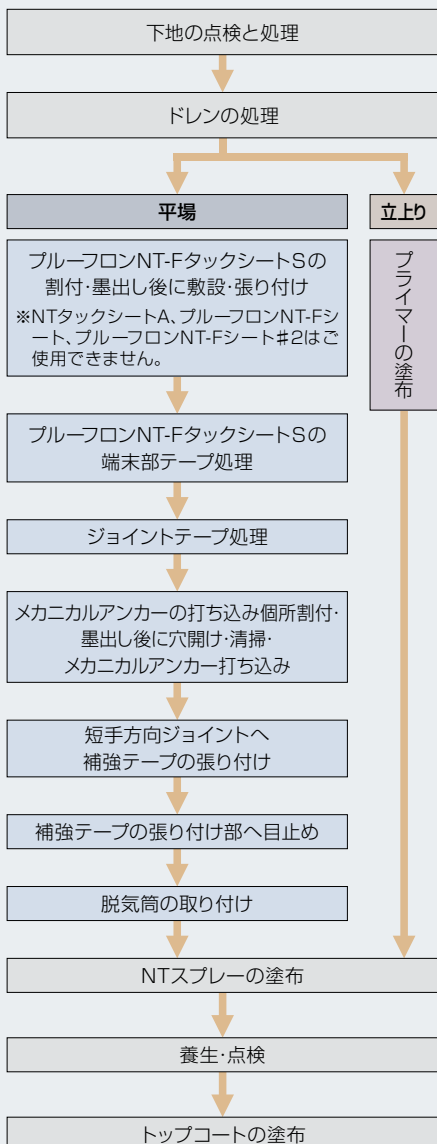
お問い合わせの際は「下地種類」「地方の区分」「地表面粗度区分」「建築物の高さ、幅」「現場下地のアンカー引き抜き強度」などの情報をご用意ください。

#### ●地表面粗度区分

- I: 海上のようなほとんど障害物の無い平坦地。  
(例) 海岸地帯、海上
- II: 田園地帯や草原のような農作物程度の障害物がある平坦地。  
(例) 田園地帯、沿岸地帯、飛行場
- III: 樹木・低層建築物が密集、もしくは中層建築物が散在する地域。  
(例) 森林地帯、工場地帯、都市周辺の住宅地
- IV: 中・高層建築物が主となる市街地。  
(例) 中高層市街地、中小都市



● 施工チャート (NK工法)



■ブルーフロンNT-FタックシートSのジョイント処理方法

- ①短辺、長辺方向ともにNTジョイントテープイエローもしくはNTジョイントテープダブルを張り付けます。
- ②所定の位置にメカニカルアンカーを打ち込みます。
- ③短辺方向のみNTジョイントテープイエローの上にブルーフロン補強テープVを張り付けます(2枚張り)。NTジョイントテープダブル使用時は2枚張りは省略できます。
- ④短辺:ウレタン塗膜防水材立上り用の塗り付け、またはNTスプレアを増し吹きします。長辺:NTスプレアを増し吹きします。

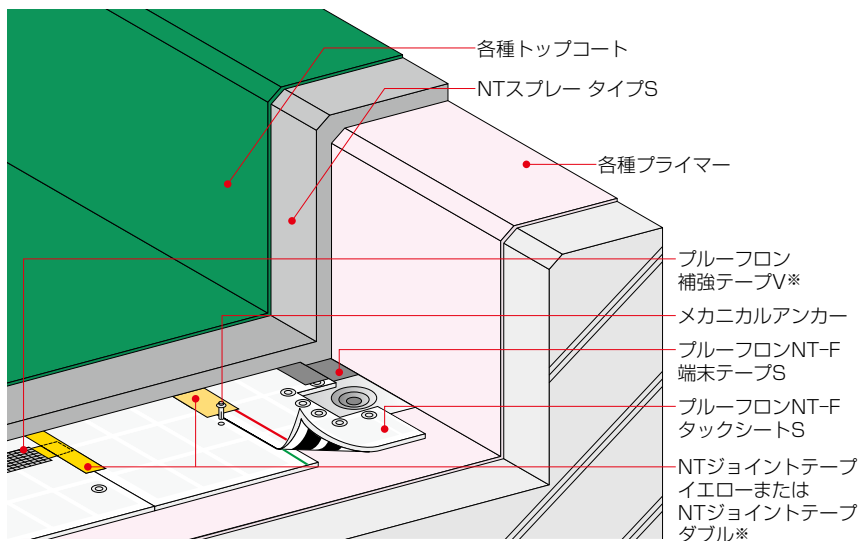
■ブルーフロンNT-FタックシートSの端末処理方法

- 端末になる部分はブルーフロンNT-F端末テープSをメカニカルアンカー、または押さえ金物に被るように張り付けしてください。

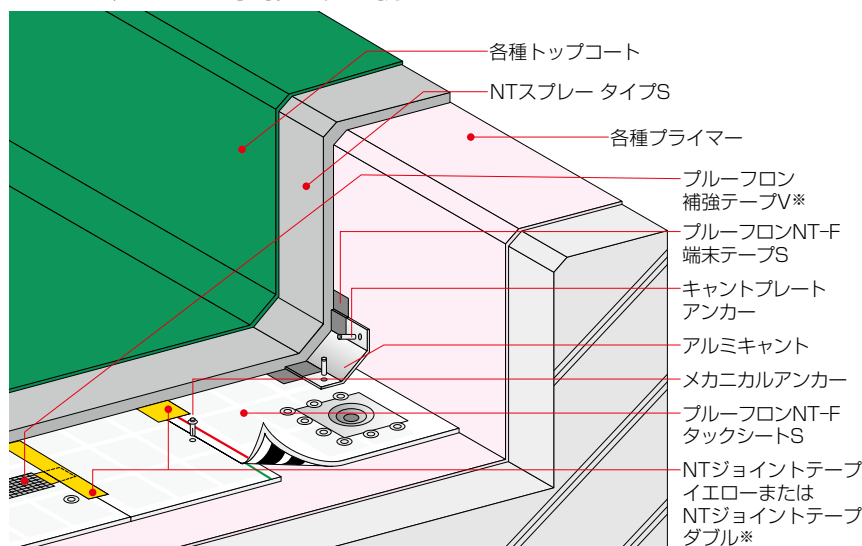
■メカニカルアンカー座金処理方法

- メカニカルアンカー座金部分で補強テープが被らない座金露出部分は、ウレタン塗膜防水材+液状ダレ止め剤、またはウレタン塗膜防水材立上り用、またはウレタンシーリング材を塗布してください。もしくはNTスプレアの増し吹きを行ってください。

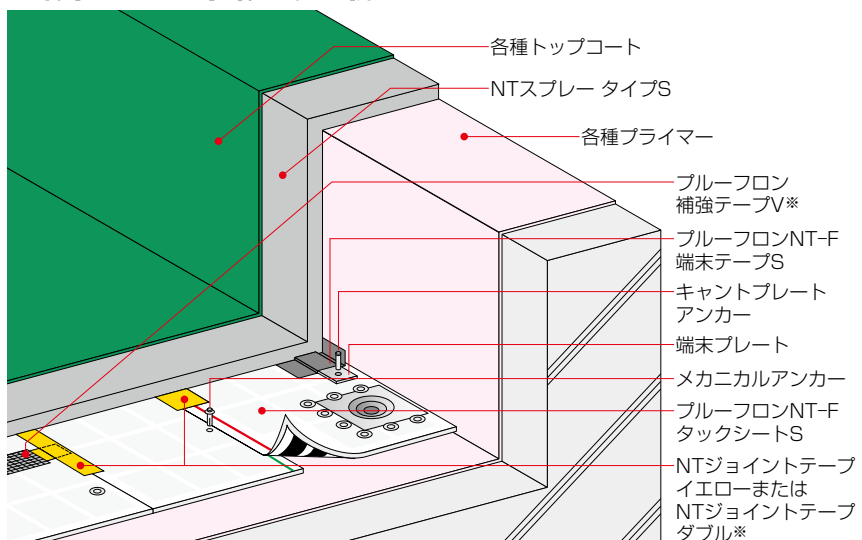
●標準仕様の施工例



●アルミキャスト仕様の施工例



●端末プレート仕様の施工例



●納まり図は一般的な例です。すべての施工において適用できるものではありません。  
 ※NTジョイントテープダブルを使用する場合は、ブルーフロン補強テープVは省略できます。

# ND工法 [断熱・遮熱工法]

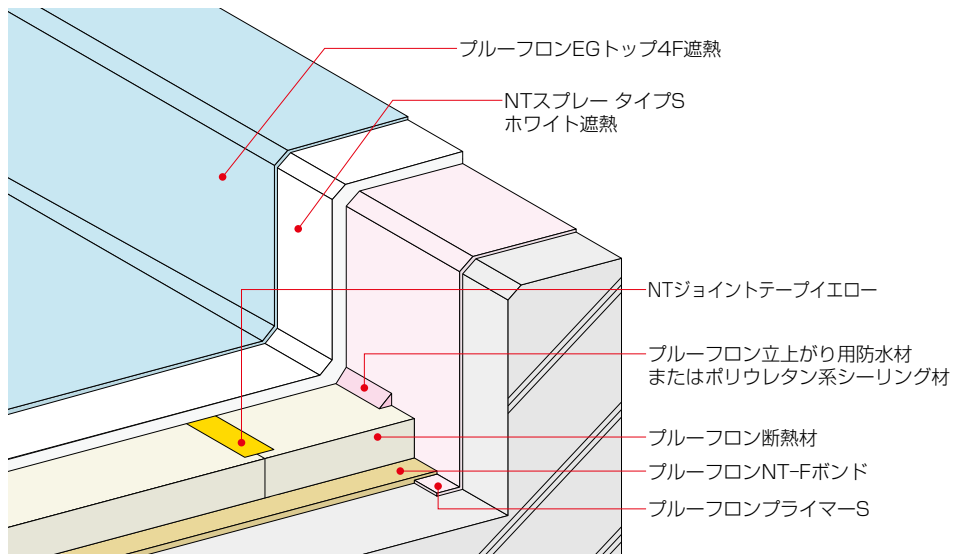
●プライマーやトップコートあるいは接着剤は、下記以外もご使用いただけます。一覧表より状況に応じたプライマーを選択ください。一覧表は右のQRコードからのリンクもしくはホームページをご確認ください。



ND工法は屋上からの熱を遮断することにより、室内への熱の侵入を防ぎ、建物の躯体の劣化を抑制する断熱材を用いた工法です。トップコートに遮熱仕様を用いることで、さらなる遮熱効果を発揮します。

**用途** ●一般屋上など

## ●ND-SS30の施工例



## ●特化則非該当・高耐候仕様(屋外限定)例



工法名	工程	①	②	③	④
<b>ND-SS30EFS</b>		ブルーフロンNT-Fボンド 下地：0.3kg/m <sup>2</sup> 断熱材：0.3kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロン断熱材	NTスプレー タイプS ホワイト遮熱 3.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンEGトップ4F遮熱 0.15kg/m <sup>2</sup> ×2回
<b>NM-SS20EFS 立上り</b>		各種プライマー 0.2kg/m <sup>2</sup>	NTスプレー タイプS ホワイト遮熱 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンEGトップ4F遮熱 0.15kg/m <sup>2</sup> ×2回	

### [ND工法の特記事項]

- 各工法の使用量は、上記以外にも変更可能です。ただし、平場は使用量3.0kg/m<sup>2</sup>以上となります。
- NTスプレーは、NTスプレー タイプS、NTスプレー タイプHから選定できます。
- 施工例については、一般的な納まり施工例となります。その他の納まりについてはお問い合わせください。

### [ND工法の注意事項]

- ブルーフロン断熱材を張り付ける際に降雨にあいまいすと、水分を含むこととなります。必ずウレタン塗膜防水材を施工し、雨仕舞いを行なったうえで作業を終了してください。
- 脱気装置の設置を行なってください。
- 作業手順は、一般施工仕様書をご参照ください。
- ステンレス脱気筒は、断熱材の厚みにより専用コア付きタイプが必要となる場合があります(詳細は最寄りの営業所へお問い合わせください)。
- 歩行頻度が高い場合などは、保護塗料の摩耗が発生いたします。定期的な点検と保護塗料の塗り替えを行ない、防水層を長持ちさせることをお勧めいたします。
- 遮熱タイプ、特注色、淡彩色のトップコートを選定した場合、隠蔽性確保のため2回塗りとなる場合があります。
- ブルーフロンEGトップ4F遮熱を2回塗りする場合、1層目はブルーフロンEGトップ4F遮熱の代わりにブルーフロンGRトップ遮熱を使用できます。
- 寒暖差が大きい時期は、断熱材の影響により、表面が結露しやすいため、トップコートの施工時間帯を考慮し、必要に応じて「ブルーフロン溶剤系トップコート硬化促進剤」または「溶剤トップ硬化促進剤×5」をご使用ください。

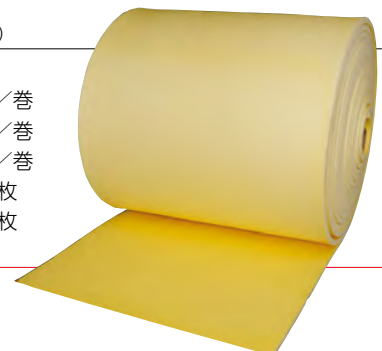
## ハイクッション工法

床に高いクッション性を付与するNTスプレー タイプS ハイクッション工法です。幼稚園、保育園、高齢者向け福祉施設などで、転倒事故によるケガの抑制対策としてご使用いただけます。



### ●ブルーフロン断熱材(軟質断熱材)

- 荷姿：
- 厚さ10mm×幅1m×長さ50m/巻
  - 厚さ15mm×幅1m×長さ50m/巻
  - 厚さ20mm×幅1m×長さ25m/巻
  - 厚さ25mm×幅1m×長さ2m/枚
  - 厚さ30mm×幅1m×長さ2m/枚



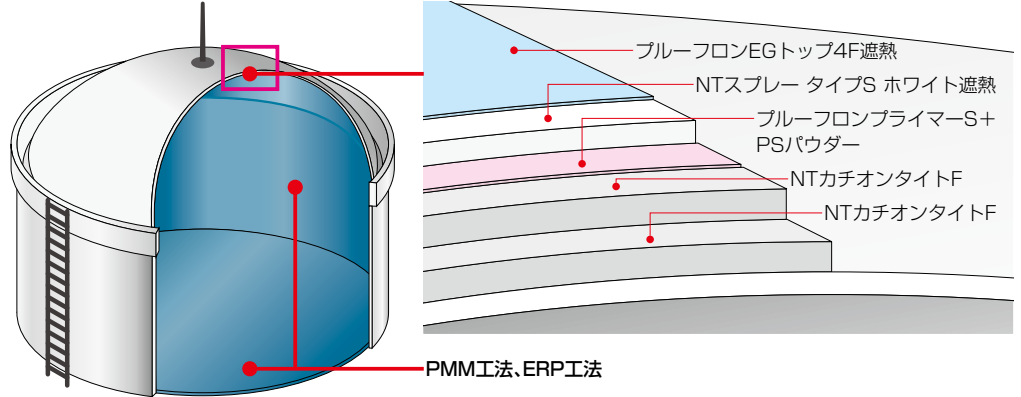
# NP 工法 [PCタンク工法]

●プライマーやトップコートあるいは接着剤は、下記以外もご使用いただけます。一覧表より状況に応じたプライマーを選択ください。一覧表は右のQRコードからのリンクもしくはホームページをご確認ください。



NP工法はPCタンクなどの防水に最適な工法で、傾斜角の大きな場所においても膜厚確保ができる信頼性の高い速硬化防水工法です。

## ●NP-SS30EFSの施工例



用途 ●PCタンク

## ●特化則非該当・高耐候仕様(屋外限定)例



工法名	工程	①	②	③	④	⑤
NP-SS20EFS		NTカチオンタイトF 2.0kg/㎡	NTカチオンタイトF 2.0kg/㎡	ブルーフロンプライマーS (PS/パウダー1:1) 混入 0.3kg/㎡	NTスプレー タイプS ホワイト遮熱 2.0kg/㎡	ブルーフロン EGトップ4F遮熱 0.15kg/㎡×2回
NP-SS30EFS		NTカチオンタイトF 2.0kg/㎡	NTカチオンタイトF 2.0kg/㎡	ブルーフロンプライマーS (PS/パウダー1:1) 混入 0.3kg/㎡	NTスプレー タイプS ホワイト遮熱 3.0kg/㎡	ブルーフロン EGトップ4F遮熱 0.15kg/㎡×2回

## ●特化則非該当仕様(屋外限定)例



工法名	工程	①	②	③	④	⑤
NP-SS20G		NTカチオンタイトF 2.0kg/㎡	NTカチオンタイトF 2.0kg/㎡	ブルーフロンプライマーS (PS/パウダー1:1) 混入 0.3kg/㎡	NTスプレー タイプS 2.0kg/㎡	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡

### [NP工法の特記事項]

- 各工法の使用量は、上記以外にも変更可能です。
- NTスプレーは、NTスプレー タイプS、NTスプレー タイプHから選定できます。
- 施工例については、一般的な納まり施工例となります。その他の納まりについてはお問い合わせください。

### [NP工法の注意事項]

- 既存下地に防水層などがある場合は、事前に最寄りの営業所にお問い合わせください。状況に応じて、適した下地処理方法とプライマーの選定が重要となります。
- NTスプレーの色相は、表面温度低減および隠蔽性確保のため、遮熱ホワイトをお勧めします。
- 遮熱タイプ、特注色、淡彩色のトップコートを選定した場合、隠蔽性確保のため2回塗りとなる場合があります。
- ブルーフロンEGトップ4F遮熱を2回塗りする場合、1層目はブルーフロンEGトップ4F遮熱の代わりにブルーフロンGRトップ遮熱を使用できます。
- 作業手順は、一般施工仕様書をご参照ください。

## ●上水・防食・防水用コンクリート内面保護工法

●フェラー仕様(上塗りなし)

工法名	工程	①	②	③
PMM工法		ガードブルーフィルター 0.5~2.0kg/㎡(1~2回)	NTコンクリート防食プライマーJ (ケミベストFDSS-5:4~8%) 0.3kg/㎡	NTスプレー タイプU 2.0kg/㎡

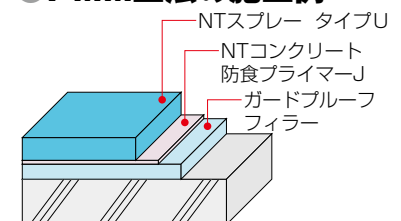
●パテ仕様(上塗りなし)

工法名	工程	①	②	③
ERP工法		NTコンクリート防食プライマーJ (ケミベストFDSS-5:4~8%) 0.3kg/㎡	ガードブルー (ケミベストFDSS-5:3~5%) 1.0kg/㎡	NTスプレー タイプU 2.0kg/㎡

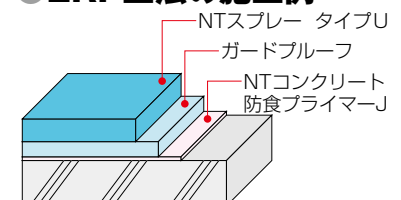
### [PMM工法・ERP工法の特記注意事項]

- 前処理、下地処理を実施後の施工となります。各工法や各種材料取り扱いについては、別冊「NTスプレータイプU」をご確認ください。
- ERP工法は、地上貯水施設にご使用できます。コンクリートの含水率が5%以下(下地処理に記載)でコンクリート面からの水の影響を受けないことが必要です。

## ●PMM工法の施工例



## ●ERP工法の施工例





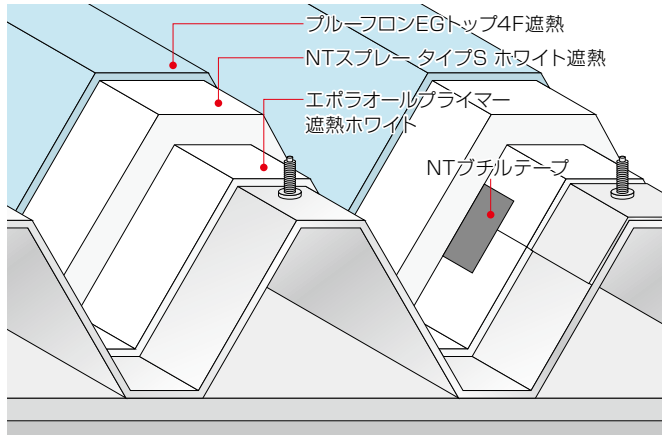
# NY 工法 [ 金属屋根・防水・遮熱・遮音工法 ]

NY工法は金属屋根の防水を可能にした速硬化防水工法で、勾配のある屋根においても膜厚確保ができる優れた防水工法です。さらに防錆、遮熱、遮音効果にも優れた性能を発揮します。

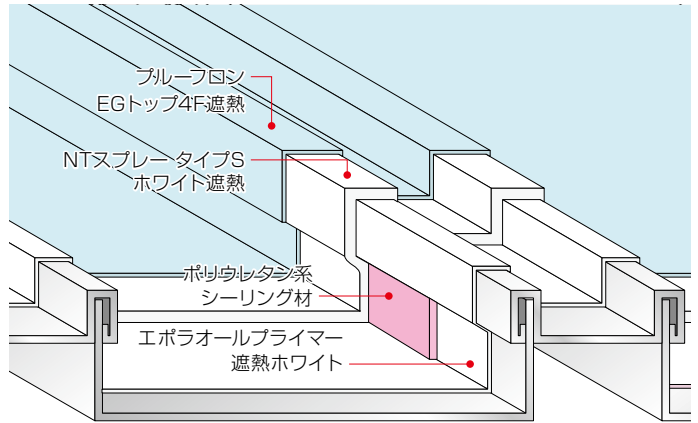
用途

●各種金属屋根

## ●NY-SS16EFSの施工例



## ●NY-SS30EFSの施工例



## ●消音・制振比較(社内試験)

試験項目	無処理鋼板 (1mm厚)	NTスプレー NY工法	削減効果	規格または条件
雨音シャワー試験(dBA)	58	46	12	シャワー流量 0.75ℓ/分
衝撃音響試験(dBA)	84.3	66.5	17.8	1in鋼球×250mm
残響時間(秒)	5	1.7	3.3	

測定機器：騒音計 B&K社 Dual Channel Real-time Frequency Analyzer(Type2133)

### ●音響測定値の目安

※音の数値が約3dBA低くなると、エネルギーは半減したことになります。

騒音値	騒音の例
100dBA	電車が通るときのガード下などの音量
80dBA	地下鉄・電車などの車内の音量
60dBA	普通の会話・静かな乗用車内の音量
50dBA	静かな事務所内の音量
40dBA	図書館・静かな住宅地の昼帯・市内など深夜帯の音量
30dBA	郊外の深夜帯・ささやき程度の音量
20dBA	木の葉のふれあう音・置き時計の秒針音(前方1m)の音量

## ●特化則非該当・高耐候仕様(屋外限定)例



工法名	工程	①	②	③	④
NY-SS16EFS		エポラオールプライマー 遮熱ホワイト 0.13~0.16kg/m <sup>2</sup>	金属のカシメ部(ジョイント部)は、NTプチルテープまたはポリウレタン系シーリング材にて処理を行なってください	NTスプレー タイプS ホワイト遮熱 1.6kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンEGトップ4F遮熱 0.15kg/m <sup>2</sup> ×2回
NY-SS30EFS		エポラオールプライマー 遮熱ホワイト 0.13~0.16kg/m <sup>2</sup>	金属のカシメ部(ジョイント部)は、NTプチルテープまたはポリウレタン系シーリング材にて処理を行なってください	NTスプレー タイプS ホワイト遮熱 3.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンEGトップ4F遮熱 0.15kg/m <sup>2</sup> ×2回

## ●特化則非該当仕様(屋外限定)例



工法名	工程	①	②	③	④
NY-SS20G		エポラオールプライマー 0.13~0.16kg/m <sup>2</sup>	金属のカシメ部(ジョイント部)は、NTプチルテープまたはポリウレタン系シーリング材にて処理を行なってください	NTスプレー タイプS 2.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>



●屋根用高日射反射率塗料(2液弱溶剤シリコン樹脂塗料) JIS K 5675 屋根用高日射反射率塗料認証品 認証番号:JP0314002

# スーパーパラサーモシリコン/スーパーパラサーモシリコンS

NY工法では、屋根用高日射反射率塗料のJIS(JIS K 5675)を取得している「スーパーパラサーモシリコン」「スーパーパラサーモシリコンS」を使用することができ、高品質なトップコート仕上げが可能です。

「スーパーパラサーモシリコン」「スーパーパラサーモシリコンS」は、太陽光からの近赤外線を強力に反射し、屋根の温度上昇を低減する高日射反射率塗料(遮熱塗料)です。優れた遮熱性能で省エネに貢献します。

## ●施工現場温度測定事例

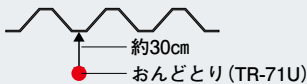
施工前後の工場内の天井空間において屋根裏面より約30cmの温度測定(おんどとり:TR-71U)を行ないました。施工前後で最も差の大きい部分の比較をしたところ

①施工前 8/21  
最高到達温度 **48.1℃**

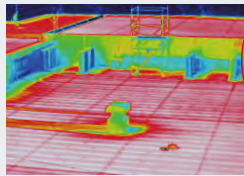
②施工後 9/17  
最高到達温度 **30.4℃**

となり17.7℃の温度差が確認されました。

- 測定場所：大分県 某工場鋼板屋根
- 測定時期：2014年8月中旬～10月初旬
- 施工塗料：スーパーパラサーモシリコンS (色相:エコホワイト)

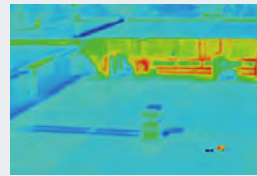


●施工前(8/12 14:00頃撮影)



屋根表面温度  
最大約  
**58℃**

●施工後(9/26 14:00頃撮影)



屋根表面温度  
最大約  
**31℃**

## ●特化則非該当仕様(屋外限定)例



工法名	工程	①	②	③	④	⑤
NY-SS20PSS						
	エポラオールプライマー	0.13~0.16kg/㎡	金属のカシメ部(ジョイント部)は、NTプチルテープまたはポリウレタン系シーリング材にて処理を行なってください	NTスプレー タイプS ホワイト遮熱 2.0kg/㎡	スーパーパラサーモシリコンS 0.15kg/㎡	スーパーパラサーモシリコンS 0.15kg/㎡

### 【NY工法の特記事項】

- 各工法の使用量は、上記以外にも変更可能です。
- NTスプレーは、NTスプレー タイプS、NTスプレー タイプHから選定できます。
- フックボルト部は、NTスプレーを施工後、ボルトキャップにウレタン系シーリング材を充填し取り付けを行なってください。
- 施工例については、一般的な納まり施工例となります。その他の納まりについてはお問い合わせください。

### 【NY工法の注意事項】

- フッ素鋼板の場合は、メーカーや経年劣化状況により付着性が異なるため、必ず施工前に付着性試験を行なってください。
- NTスプレーの色相は、表面温度低減および隠蔽性確保のため、遮熱ホワイトをお勧めします。
- 遮熱タイプ、特注色、淡彩色のトップコートを選定した場合、隠蔽性確保のため2回塗りとなる場合があります。
- ブルーフロンEGトップ4F遮熱を2回塗りする場合、1層目はブルーフロンEGトップ4F遮熱の代わりにブルーフロンGRトップ遮熱を使用できます。
- 作業手順は、一般施工仕様書をご参照ください。

※「スーパーパラサーモシリコン」「スーパーパラサーモシリコンS」の色相につきましては、専用色見本帳をご参照ください。  
※「スーパーパラサーモシリコン」「スーパーパラサーモシリコンS」は、JIS K 5675を取得していますが、建築用塗膜防水材料JIS A 6021のトップコート用のJISではないことをあらかじめご了承ください。

# NU工法 [塗り床工法]

●プライマーやトップコートあるいは接着剤は、下記以外も使用いただけます。一覧表より状況に応じたプライマーを選択ください。一覧表は右のQRコードからのリンクもしくはホームページをご確認ください。

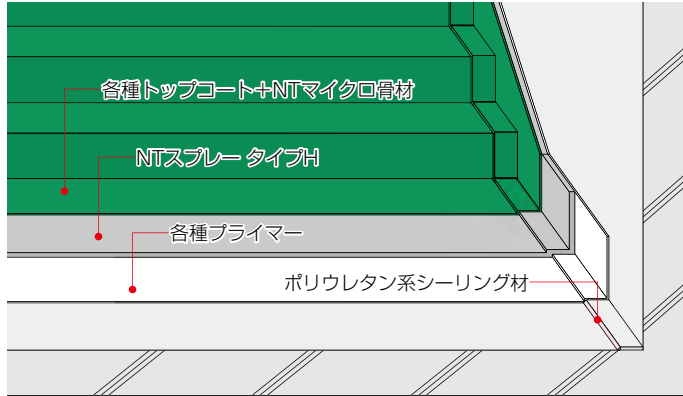


- 用途**
- コンコース
  - 廊下・内部階段
  - クリーンルーム
  - 工場床

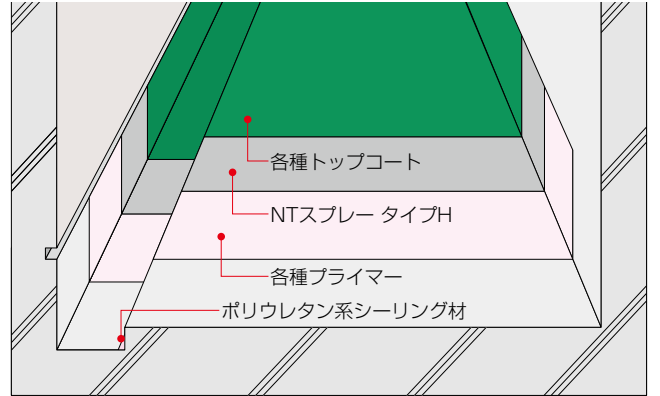
NU工法は超速硬化の特性を生かし、施工完了後、短期間での使用が可能となります。

また、プライマーとトップコートの組み合わせにより、臭気を抑えた塗り床施工が可能となります。

## ●NU-SH16工法 屋内階段への施工例



## ●NU-SH20工法 屋内廊下への施工例



## ●特化則非該当・環境配慮 屋内専用低臭仕様例



工法名	工程	①	②	③
NU-SH16WG		ブルーフロンエコ水性プライマーホワイト 0.2kg/㎡	NTスプレー タイプH 1.6kg/㎡	ブルーフロンエコ水性GRトップ+NTマイクロ骨材 0.2kg/㎡

## ●特化則非該当・防滑仕様(屋外限定)例



工法名	工程	①	②	③	④	⑤
NU-SH20FT		各種プライマー 0.2kg/㎡	NTスプレー タイプH 2.0kg/㎡	ユータックFT+エストップ#20 0.2kg/㎡		
NU-SH20WE		各種プライマー 0.2kg/㎡	NTスプレー タイプH 2.0kg/㎡	ブルーフロン 塗り替え用プライマー 0.1kg/㎡	ブルーフロンエコ水性トップ 0.35kg/㎡	ブルーフロンエコ水性トップ 0.35kg/㎡

### 【NU工法の特記事項】

- 各工法の使用量は、上記以外にも変更可能です。
- NTスプレーは、NTスプレー タイプS、NTスプレー タイプHから選定できます。
- 施工例については、一般的な納まり施工例となります。その他の納まりについてはお問い合わせください。

### 【NU工法の注意事項】

- 既存下地に防水層や塗り床材などがある場合は、事前に最寄りの営業所にお問い合わせください。状況に応じて、適した下地処理方法とプライマーの選定が重要となります。
- 作業手順は、一般施工仕様書をご参照ください。
- 下地は、コンクリート金コテ仕上げを想定しています。機械押さえ処理を行なった緻密コンクリートや強化コンクリートなどは、別途下地処理が必要です。
- コンクリート表層のレイタンスは、適切な下地処理が別途必要となります。
- 遮熱タイプ、特注色、淡彩色のトップコートを選定した場合、隠蔽性確保のため2回塗りとなる場合があります。
- ブルーフロンEGトップ4F遮熱を2回塗りする場合、1層目はブルーフロンEGトップ4F遮熱の代わりにブルーフロンGRトップ遮熱を使用できます。



# NS工法 [競技場スタンド工法]

●プライマーやトップコートあるいは接着剤は、下記以外もご使用いただけます。一覧表より状況に応じたプライマーを選択ください。一覧表は右のQRコードからのリンクもしくはホームページをご確認ください。

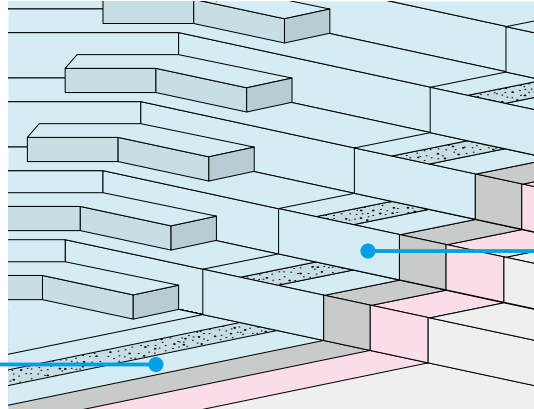
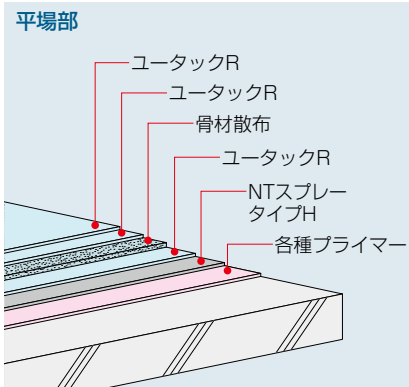


用途

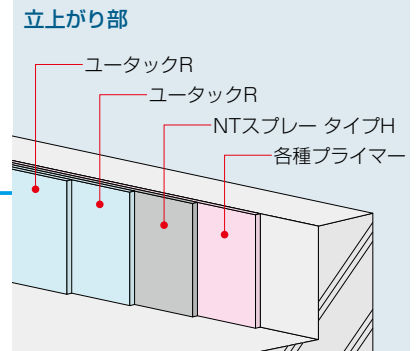
- 競技場スタンド
- 観客席

NS工法は、大勢の観客が歩行する競技場スタンドなど複雑な形状でも、高強度で均一な防水層を形成できます。

## ●NS-SH20UTR工法の施工例



## ●NS-SH20UTR 立上がり工法の施工例



## ●特化則非該当仕様(屋外限定)例



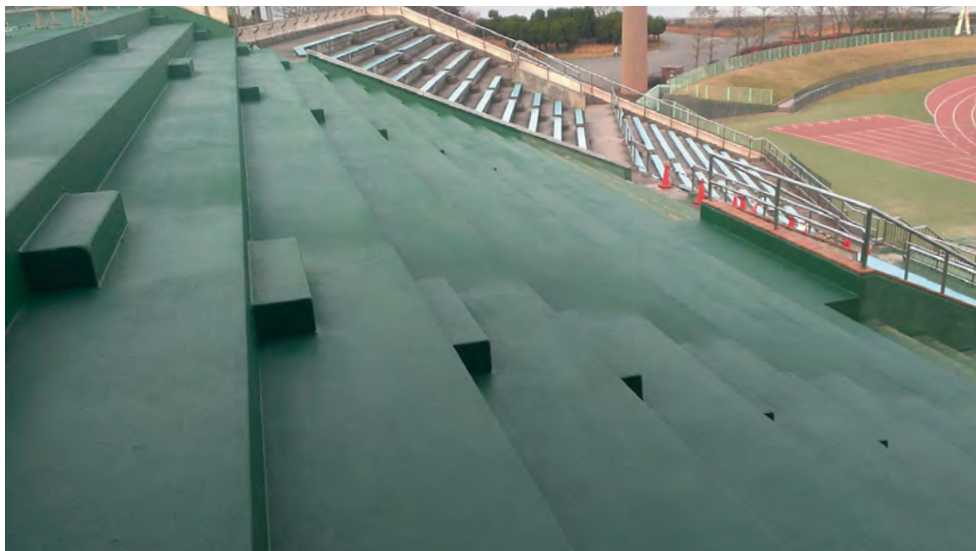
工法名	工程	①	②	③	④	⑤	⑥
NS-SH20UTR		各種プライマー 0.2kg/m <sup>2</sup>	NTスプレー タイプH 2.0kg/m <sup>2</sup>	ユータックR 0.15kg/m <sup>2</sup>	骨材散布 0.3kg/m <sup>2</sup>	ユータックR 0.2kg/m <sup>2</sup>	ユータックR 0.2kg/m <sup>2</sup>
NS-SH20UTR 立上り		各種プライマー 0.2kg/m <sup>2</sup>	NTスプレー タイプH 2.0kg/m <sup>2</sup>	ユータックR 0.15kg/m <sup>2</sup>	ユータックR 0.15kg/m <sup>2</sup>		

### 【NS工法の特記事項】

- 防滑仕様については、各種仕様を選択可能なため、目的に応じて変更可能です。詳細については、最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 各工法の使用量は、上記以外にも変更可能です。
- NTスプレーは、NTスプレー タイプS、NTスプレー タイプHから選定できます。
- 施工例については、一般的な納まり施工例となります。その他の納まりについてはお問合せください。

### 【NS工法の注意事項】

- 既存下地に防水層や塗り床材などがある場合は、事前に最寄りの営業所にお問い合わせください。状況に応じて、適した下地処理方法とプライマーの選定が重要となります。
- 歩行頻度が高い場合などは、保護塗料の摩耗が発生いたします。定期的な点検と保護塗料の塗り替えを行ない、防水層を長持ちさせることをお勧めいたします。
- 設計価格には、施工に伴う座席移設費用および、保護塗料の色分け、マーキング費用などは含まれておりません。
- 構造体の状況によって、補強処理や絶縁テープおよび露出仕上げとなる場合があります。詳細については、最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 金属製スパイクシューズなどでの歩行は防水層を損傷する恐れがあります。
- 作業手順は、一般施工仕様書をご参照ください。



# NC工法 [ 駐車場防水工法 ]

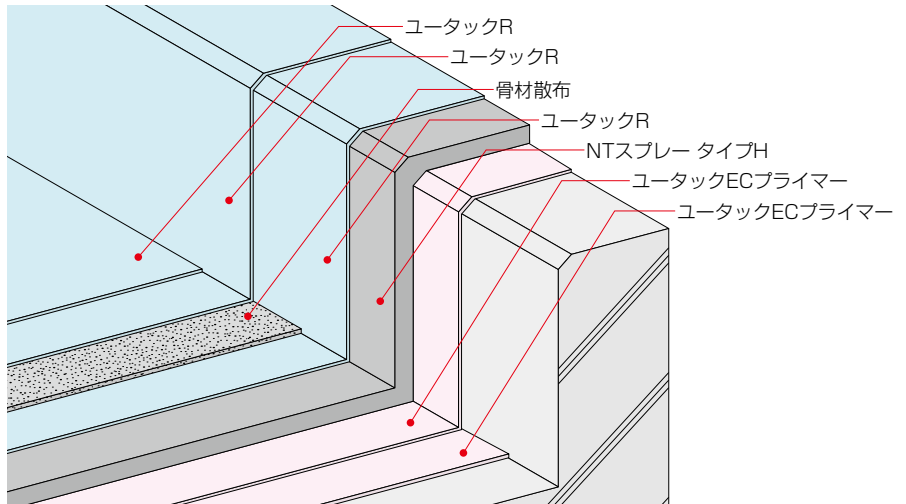
●プライマーやトップコートあるいは接着剤は、下記以外も使用いただけます。一覧表より状況に応じたプライマーを選択ください。一覧表は右のQRコードからのリンクもしくはホームページをご確認ください。



NC工法は、押えコンクリートやアスコンが不要な露出防水工法です。メンテナンス性に優れ、屋根の軽量化と工期短縮に貢献します。

**用途** ●自走式駐車場

## ●NC-SH30UTRの施工例



## ●特化則非該当仕様(屋外限定)例



工法名	工程	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
NC-SH30UTR		ユータックECプライマー 0.15kg/m <sup>2</sup>	ユータックECプライマー 0.15kg/m <sup>2</sup>	NTスプレータイプH 3.0kg/m <sup>2</sup>	ユータックR 0.15kg/m <sup>2</sup>	骨材散布 0.3kg/m <sup>2</sup>	ユータックR 0.2kg/m <sup>2</sup>	ユータックR 0.2kg/m <sup>2</sup>
NC-SH20UTR 立上り		ユータックECプライマー 0.15kg/m <sup>2</sup>	NTスプレータイプH 2.0kg/m <sup>2</sup>	ユータックR 0.15kg/m <sup>2</sup>	ユータックR 0.15kg/m <sup>2</sup>			

### [NC工法の特記事項]

- 各工法の使用量は、上記以外にも変更可能です。
- 上記工法においてNTスプレータイプSの使用も可能です。使用の際は最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 路面標示、区画線、ラインは、ユータックRを用いて施工してください。
- プライマーにはブルーフロンプライマーSも使用可能です。使用量は0.2kg/m<sup>2</sup>

- となります。
- 施工の際は施工間隔を厳守してください。剥離等の原因になります。
- 施工例については、一般的な納まり施工例となります。その他の納まりについてはお問い合わせください。

### [NC工法の注意事項]

- 下地処理に専用機械を使用した研削工程が必要となります。
- 保護塗料は使用状況により摩耗が発生し滑り抵抗が低下します。定期的な点検と保護塗料の塗り替えを行ない、防水層を長持ちさせることをお勧めいたします。保護塗料の再塗装は有償の工事となります。
- 設計価格には、施工に伴う保護塗料の色分け、ライン引き費用などは含まれておりません。
- デッキプレート下地、押さえコンクリート下地の場合は、最寄りの弊社営業所までお問い合わせください。

- 構造体の状況および特殊下地については、最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 車両のスパイクタイヤ、金属チェーン、スパイク付ゴムチェーン装着状態での走行は行なわないでください。
- 走行車両は、走行速度15km/h以下で普通乗用車までとなります。
- 車止めは、防水層施工後、接着剤で取り付けを行なってください。
- 作業手順は、一般施工仕様書をご参照ください。

# NH工法 [ 保護モルタル工法 ]

NH工法は、浴室やトイレなど、RC構造下地の水回りに使用する保護モルタル(別途工事が必要です)工法です。屋上にも施工可能です。

**用途** ●浴室、トイレ  
●一般屋上など

## ●特化則非該当仕様(屋外限定)例



工法名	工程	①	②	③	④
NH-SS30G		各種プライマー 0.2kg/m <sup>2</sup>	NTスプレータイプS 3.0kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/m <sup>2</sup>	※ポリエチレンシート(0.15~0.2mm)および保護モルタルは別途工事となります。

# NF 工法 [複合防水工法]

●プライマーやトップコートあるいは接着剤は、下記以外もご使用いただけます。一覧表より状況に応じたプライマーを選択ください。一覧表は右のQRコードからのリンクもしくはホームページをご確認ください。

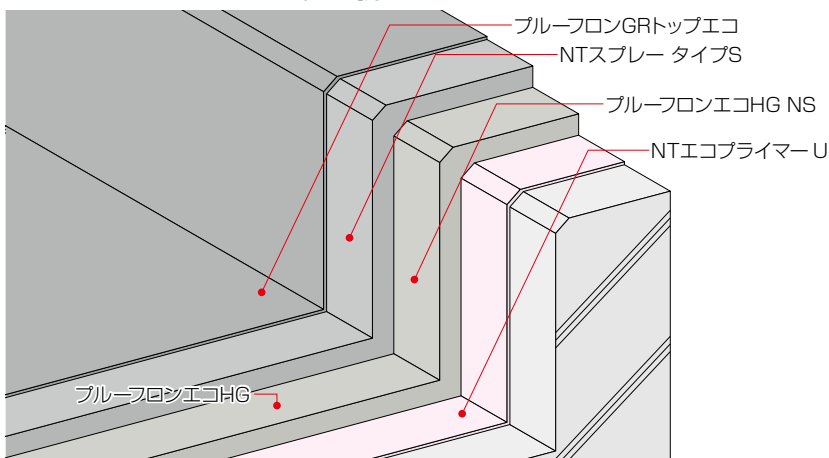


NF工法は、高い塗膜性能と良好な伸び性能を実現した工法です。高伸長ウレタンと高強度ウレタンの複合工法であるため、強力な下地ひび割れ追従性と歩行に耐えられる高い耐摩耗性を有しています。

用途

- 一般屋上など

## ●NF-HGSS30GEの施工例



## ●一般仕様例

工法名	工程	①	②	③	④
NF-VSS30G		プライマー各種 0.2kg/㎡	ブルーフロンバリュー 1.4kg/㎡	NTスプレー タイプS 2.0kg/㎡	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡
NF-VSS20G 立上り		プライマー各種 0.2kg/㎡	ブルーフロンバリュー NS 0.7kg/㎡	NTスプレー タイプS 1.5kg/㎡	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡
NF-SSSH35EFS		プライマー各種 0.2kg/㎡	NTスプレー タイプS 1.5kg/㎡	NTスプレー タイプH 2.0kg/㎡	ブルーフロンEGトップ4F遮熱 0.15kg/㎡×2回

## ●環境配慮特化則非該当仕様例



工法名	工程	①	②	③	④
NF-DSH30GE		NTエコプライマーU 0.2kg/㎡	ブルーフロンエコDX 1.3kg/㎡	NTスプレー タイプH 2.0kg/㎡	ブルーフロンGRトップエコ 0.2kg/㎡
NF-DSH25GE 立上り		NTエコプライマーU 0.2kg/㎡	ブルーフロンエコDX NS 0.7kg/㎡	NTスプレー タイプH 2.0kg/㎡	ブルーフロンGRトップエコ 0.2kg/㎡

## ●環境配慮・特化則非該当仕様例



工法名	工程	①	②	③	④
NF-ISS30GE		NTエコプライマーU 0.2kg/㎡	ブルーフロンエコONEII 1.4kg/㎡	NTスプレー タイプS 2.0kg/㎡	ブルーフロンGRトップエコ 0.2kg/㎡
NF-ISS25GE 立上り		NTエコプライマーU 0.2kg/㎡	ブルーフロンエコONE NSII 0.8kg/㎡	NTスプレー タイプS 2.0kg/㎡	ブルーフロンGRトップエコ 0.2kg/㎡

## ●環境配慮・特化則非該当仕様例



工法名	工程	①	②	③	④
NF-HGSS30GE		NTエコプライマーU 0.2kg/㎡	ブルーフロンエコHG 1.2kg/㎡	NTスプレー タイプS 2.0kg/㎡	ブルーフロンGRトップエコ 0.2kg/㎡
NF-HGSS25GE 立上り		NTエコプライマーU 0.2kg/㎡	ブルーフロンエコHG NS 0.6kg/㎡	NTスプレー タイプS 2.0kg/㎡	ブルーフロンGRトップエコ 0.2kg/㎡
NF-HGSH30GE		NTエコプライマーU 0.2kg/㎡	ブルーフロンエコHG 1.2kg/㎡	NTスプレー タイプH 2.0kg/㎡	ブルーフロンGRトップエコ 0.2kg/㎡
NF-HGSH25GE 立上り		NTエコプライマーU 0.2kg/㎡	ブルーフロンエコHG NS 0.6kg/㎡	NTスプレー タイプH 2.0kg/㎡	ブルーフロンGRトップエコ 0.2kg/㎡

### [NF工法の特記事項]

- 各工法の使用量は、上記以外にも変更可能です。
- NTスプレーは、NTスプレー タイプS、NTスプレー タイプHから選定できます。
- 施工例については、一般的な納まり施工例となります。その他の納まりについてはお問い合わせください。

### [NF工法の注意事項]

- 既存下地に防水層や塗り床材などがある場合は、事前に最寄りの営業所にお問い合わせください。状況に応じて、適した下地処理方法とプライマーの選定が重要となります。
- 歩行頻度が高い場合などは、保護塗料の摩耗が発生いたします。定期的な点検と保護塗料の塗り替えを行ない、防水層を長持ちさせることをお勧めいたします。
- 必要に応じ、脱気装置の設置を行なってください。

- 作業手順は、一般施工仕様書をご参照ください。
- 遮熱タイプ、特注色、淡彩色のトップコートを選定した場合、隠蔽性確保のため2回塗りとなる場合があります。
- ブルーフロンEGトップ4F遮熱を2回塗りする場合、1層目はブルーフロンEGトップ4F遮熱の代わりにブルーフロンGRトップ遮熱を使用できます。



# 官公庁仕様

公共建築工事標準仕様書[平成31年度版]  
公共建築改修工事標準仕様書[平成31年度版]

## ●公共建築工事標準仕様(X-1、X-2相当)

工法名	工程	①	②	③	④	⑤	⑥
<b>X-1S</b>		接着剤 (ボンドまたはプライマー)	通気緩衝シート	NTスプレー タイプS 1.5kg/㎡	NTスプレー タイプS 1.5kg/㎡	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡	
<b>X-2SC</b>	プライマー各種 0.2kg/㎡		ブルーフロンシリーズ ウレタン塗膜防水材 一般用各種*	補強布	NTスプレー タイプS 1.5kg/㎡	NTスプレー タイプS 1.2kg/㎡	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡
<b>X-2SC 立上り用</b>			ブルーフロンシリーズ ウレタン塗膜防水材 立上がり用各種*		NTスプレー タイプS 0.9kg/㎡	NTスプレー タイプS 0.8kg/㎡	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡

\*ブルーフロンバリューおよびブルーフロンバリュー-NS、ブルーフロンエコONEIIおよびブルーフロンエコONE NSIIを使用する場合は0.5kg/㎡となります。その他ブルーフロンシリーズウレタン塗膜防水材一般用各種および立上がり用各種を使用する場合は0.4kg/㎡となります。

## ●「標準仕様」以外の工法 仕様例(X-1相当)

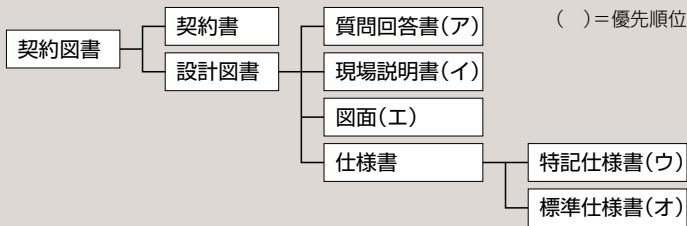
工法名	工程	①	②	③	④
<b>X-1S</b>		接着剤 (ボンドまたは プライマー)	通気緩衝シート	NTスプレー タイプS 3.0kg/㎡	各種トップコート 0.2kg/㎡

## ●「標準仕様」以外の工法 仕様例(X-2相当)

工法名	工程	①	②	③
<b>X-2S</b>	プライマー各種 0.2kg/㎡		NTスプレー タイプS 3.0kg/㎡	各種トップコート 0.2kg/㎡
<b>X-2S 立上り用</b>			NTスプレー タイプS 2.0kg/㎡	

### 塗膜防水「標仕」以外の工法として、X-2の補強布を省略する提案について

公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成31年度版には、設計図書間の優先順位を定めています(1.1.1適用範囲)。発注者及び監督職員と協議の上、承認を得た場合は、補強布張りを省略することができます。



建築工事監理指針(令和元年度版) 上巻23ページ 図1.1.1 工事請負契約における図書より抜粋

### 建築工事監理指針(令和元年度版)上巻949ページ

9章 防水工事 8節「標仕」以外の工法

9.8.2 塗膜防水「標仕」以外の工法

(1) 超速硬化ウレタンゴム系塗膜防水材(一部抜粋)

(イ) (a)硬化時間が短いため平場・立上り部とも同一材で施工できる。  
(ウ) (a)密着工法では、補強布を使用しない。

(b)所定量のウレタン防水材を、一工程で吹き付ける。  
「JASS 8 防水工事」のウレタンゴム系高強度形塗膜防水工法・密着仕様(L-UFH)、ウレタンゴム系高強度形塗膜防水工法・絶縁仕様(L-USH)を参考にするとよい。

# JASS8仕様

日本建築学会 建築工事標準仕様書JASS8[2014年版]

## ●日本建築学会JASS8防水工事仕様

工法名	工程	①	②	③
<b>L-UFH 平場</b>	プライマー各種 0.2kg/㎡		NTスプレー タイプSまたはNTスプレー タイプH 3.0kg/㎡	各種トップコート 0.2kg/㎡
<b>L-UFH 立上り</b>			NTスプレー タイプSまたはNTスプレー タイプH 2.0kg/㎡	

工法名	工程	①	②	③	④
<b>L-USH 平場</b>		接着剤 (ボンドまたはプライマー)	通気緩衝シート	NTスプレー タイプSまたはNTスプレー タイプH 3.0kg/㎡	各種トップコート 0.2kg/㎡
<b>L-USH 立上り</b>		プライマー各種 0.2kg/㎡	NTスプレー タイプSまたはNTスプレー タイプH 2.0kg/㎡	ブルーフロンGRトップ 0.2kg/㎡	

### ※類似仕様について

公的仕様	通気緩衝工法	密着工法	立上り
公共建築工事標準仕様書	X-1	X-2	X-2
公共建築改修工事標準仕様書	POX	L4X	L4X
日本建築学会JASS8防水工事	L-USS	L-UFS	L-UFH、L-USH

# UR都市機構仕様

UR都市機構の階段室床防水工法です。  
特化則非該当仕様・環境配慮仕様で仕  
様組みを行なっています。右記仕様は  
第三者機関(建材試験センター)の品質  
判定において基準を満たしています。

●階段室床防水(超速硬化ウレタン吹付け防水)  
保全工事共通仕様書[令和2年版]



工法名	①	②	③
NM-SH15GE工法	ブルーフロンエコプライマー 0.15kg/m <sup>2</sup>	NTスプレー タイプH 1.5kg/m <sup>2</sup>	ブルーフロンGRトップエコ 0.15kg/m <sup>2</sup>

## 優れた性能は各種試験で実証されています。

### 試験成績一覧

試験項目		JIS A 6021:2011屋根用塗膜防水材 ウレタンゴム系の要求性能		NTスプレー タイプS	NTスプレー タイプH	
		高伸長形 共用	高強度形 共用			
引張性能	引張強さ N/mm <sup>2</sup>	試験時温度 23℃	2.3以上	10以上	12	15
		試験時温度 -20℃	2.3以上	10以上	25	29
		試験時温度 60℃	1.4以上	6.0以上	8.1	11
	破断時の伸び率 %	試験時温度 23℃	450以上	200以上	570	380
	抗張積 N/mm	試験時温度 23℃	280以上	700以上	1400	1177
		破断時のつかみ間の 伸び率 %	試験時温度 23℃	300以上	120以上	400
試験時温度 -20℃			250以上	100以上	390	210
	試験時温度 60℃	200以上	100以上	280	190	
引裂性能	引裂強さ N/mm	14以上	30以上	65	61	
加熱伸縮性状	伸縮率 %	-4.0以上1.0以下	-1.0以上1.0以下	-0.3	-0.2	
劣化処理後の 引張性能	引張強さ比 %	加熱処理	80以上	80以上	108	111
		促進曝露処理	60以上	60以上	63	109
		アルカリ処理	60以上	60以上	92	98
		酸処理	80以上	80以上	92	112
	破断時の伸び率 %	加熱処理	400以上	180以上	630	410
		促進曝露処理	400以上	180以上	590	380
		アルカリ処理	400以上	180以上	600	380
		酸処理	400以上	180以上	590	410
伸び時の劣化性状	加熱処理	いずれの試験片にも、ひび割れ及び 著しい変形があつてはならない。		合格	合格	
	促進曝露処理			合格	合格	
	オゾン処理			合格	合格	
たれ抵抗性能 ※	たれ長さ mm	いずれの試験体も3.0以下		0	0	
	しわの発生	いずれの試験体にもあつてはならない。		合格	合格	
固形分 %	主剤(B液)	表示値±3.0		96	99	
	硬化剤(A液)			97	95	
硬化物密度 Mg/m <sup>3</sup>		表示値±0.1		1.0	1.0	

※一般平場部に用いる一般用には適用しません。

# 製品一覧①

品種	品名	荷姿	成分、組成、用途、特徴	F☆☆☆☆ 登録番号	特化則 非該当※1
下地処理材	NTカチオンタイトF	20kgセット (パウダー:15.5kg、硬化液:4.5kg)	カチオン系ラテックスモルタル樹脂系	—	○
	NTカチオンタイト目地用充填材	20kg	NTカチオンタイトF用ガラス発泡骨材 (通気緩衝工法専用コンクリート目地処理材)	—	○
	NTカチオンフィラー	30kgセット(主材:20kg、硬化液:10kg)	セメント・ポリマー複合型カチオンセメント	—	○
	ブルーフロンAS活性材N	20kg	溶剤アスファルト樹脂系 露出アスファルト防水面改修用	—	▲
	NTミラクルフィラー ※2	20kgセット (A液:4kg、B液:4kg、パウダー:12kg)	エポキシ樹脂セメント系 下地処理兼用プライマー	N03179	○
	NTカチオンエース	20kg	セメント・ポリマー複合型カチオンセメント JIS A 6916 下地調整塗材C-1・C-2認証	N03202	○
	NTエポキシ速乾フィラー	34kgセット (主材:4kg、硬化剤:4kg、パウダー:26kg(13kg×2袋))	エポキシ樹脂セメント系 速乾型	—	○
	ブルーフロン断熱フィラー	18kg	セメント・ポリマー複合型カチオンセメント 断熱タイプ	—	○
	NT吸水調整剤	18kg	エチレン酢酸ビニル重合体エマルジョン セメント系下地調整材用吸水調整剤	—	○
仮防水材	ブルーフロンアクア	20kgセット (混和液:12kg、パウダー:8kg)	ポリマーセメント系塗膜防水材	N03195	○
プライマー 金属面用	エポラオールプライマー	16kgセット(A液:1.4kg、B液:2kg) 4kgセット(A液:3.5kg、B液:0.5kg)	2液弱溶剤変性エポキシ樹脂系 鉄部、非鉄金属用	N03251	▲
	エポラ#3プライマー	16.5kgセット(A液:15kg、B液:1.5kg) 1.1kgセット(A液:1kg、B液:0.1kg)	2液溶剤エポキシ樹脂系 非鉄金属用	N03188	▲
	NT金属用プライマー ECO	16.5kgセット(A液:15kg、B液:1.5kg) 3.3kgセット(A液:3kg、B液:0.3kg)	2液溶剤エポキシ樹脂系 鉄部、非鉄金属用	N03256	○
プライマー 溶剤系	ブルーフロンプライマーS	16kg、4kg	湿気硬化型1液溶剤ウレタン樹脂系 モルタル・コンクリート・層間塗継ぎ用 浸透タイプ	N03121	▲
	ブルーフロンプライマーU	16kg、4kg	湿気硬化型1液溶剤ウレタン樹脂系 モルタル・コンクリート・層間塗継ぎ用 速乾タイプ	N03124	▲
	NTエコプライマーU	16kg	湿気硬化型1液溶剤ウレタン樹脂系 モルタル・コンクリート・層間塗継ぎ用 速乾タイプ	N03231	○
	ブルーフロンエコプライマー	16kg	湿気硬化型1液溶剤ウレタン樹脂系 モルタル・コンクリート・層間塗継ぎ用 速乾タイプ	N03141	○
	NT塩ビシートプライマー	12kg	湿気硬化型1液溶剤ウレタン樹脂系 塩ビシート用 速乾タイプ	N03253	▲
	ブルーフロン塗り替え用プライマー	12kg	湿気硬化型1液溶剤ウレタン樹脂系 層間プライマー 速乾タイプ	N03219	▲
	ブルーフロンUR層間プライマー	12kg	湿気硬化型1液ウレタン樹脂系 層間プライマー 速乾タイプ	N03254	○
	NTゴムシートバインダー	6kgセット(A液:4kg、B液:2kg)	2液溶剤エポキシ樹脂系 加硫ゴムシート用	—	○
	ユータックECプライマー	16kgセット(A液:12kg、B液:4kg) 4kgセット(A液:3kg、B液:1kg)	2液溶剤エポキシ樹脂系 モルタル・コンクリート用	JIS K 5970 認証	▲
	水系	ブルーフロンエコ水性プライマーホワイト	16kgセット(A液:8kg、B液:8kg)	2液水性エポキシ樹脂系 モルタル・コンクリート用	N03138
NT水性塗り替え用プライマーU ※3		11kgセット(A液:10kg、B液:1kg)	2液水性ウレタン樹脂系 層間プライマー 弾性・無黄変タイプ	N03258	○
粘度調整・ 洗浄液	ブルーフロンエコシンナー	16ℓ	溶剤系プライマー、ウレタン防水材、 ウレタン系保護材、溶剤系トップコート用	—	○
	ブルーフロンGRToppシンナー	16ℓ・4ℓ	ブルーフロンGRTopp各種、ユータックFT用	—	▲
	ブルーフロンシンナー	16ℓ・4ℓ	ウレタン防水用シンナー ブルーフロンバリュー、ブルーフロンバリュー NS用	—	▲
	ブルーフロンエコONE II希釈剤	16ℓ	ウレタン防水用シンナー ブルーフロンエコONE II、エコONE NS IIに使用	—	○
	エポラ#3シンナー	16ℓ	エポラ#3プライマー用	—	▲
	NTエポキシシンナー ECO	16ℓ・4ℓ	NT金属用プライマー ECO用	—	○

※1:○=特化則非該当製品：特定化学物質障害予防規則に該当しない製品。▲=エチルベンゼンを含有しているため、屋内で使用する場合は特定化学物質障害予防規則の対象となります。

※2:NTスプレーの下地として使用する場合はプライマーが必要になります。

※3:NTスプレーの塗り継ぎ用途の層間プライマーとしては使用できません。トップコートが塗布されている場合は使用できます。



品種	品名	荷姿	成分、組成、用途、特徴	F☆☆☆☆ 登録番号	特化則 非該当※1	
ウレタン塗膜防水材	平場用	ブルーフロンエコHG	20kgセット(主剤:8kg、硬化剤:12kg) ペール缶および角缶対応	JIS A 6021屋根用ウレタンゴム系高伸長形 一般用 認証 2液ウレタン樹脂	N03261	○
		ブルーフロンエコDX	18kgセット(主剤:6kg、硬化剤:12kg) ペール缶および角缶対応	JIS A 6021屋根用ウレタンゴム系高伸長形 一般用 認証 2液ウレタン樹脂	N03248	○
		ブルーフロンエコONEII	18kg、9kg 角缶	JIS A 6021屋根用ウレタンゴム系高伸長形 一般用 認証 1液ウレタン樹脂	N03266	○
		ブルーフロンエコ	18kgセット(主剤:6kg、硬化剤:12kg) ペール缶および角缶対応	JIS A 6021屋根用ウレタンゴム系高伸長形 一般用 認証 2液ウレタン樹脂	N03139	—
		ブルーフロンバリュー	20kgセット(主剤:5kg、硬化剤:15kg) ペール缶および角缶対応	JIS A 6021屋根用ウレタンゴム系高伸長形 一般用 認証 2液ウレタン樹脂	N03174	—
		ブルーフロンエコMID	18kgセット(主剤:6kg、硬化剤:12kg) ペール缶および角缶対応	JIS A 6021屋根用ウレタンゴム系高伸長形 一般用 認証 2液ウレタン樹脂	N03185	—
	立上り用	ブルーフロンエコHG NS	20kgセット(主剤:8kg、硬化剤:12kg) ペール缶および角缶対応	JIS A 6021屋根用ウレタンゴム系高伸長形 立上がり用 認証 2液ウレタン樹脂	N03260	○
		ブルーフロンエコDX NS	18kgセット(主剤:6kg、硬化剤:12kg) ペール缶および角缶対応	JIS A 6021屋根用ウレタンゴム系高伸長形 立上がり用 認証 2液ウレタン樹脂	N03249	○
		ブルーフロンエコONE NSII	9kg 角缶	JIS A 6021屋根用ウレタンゴム系高伸長形 立上がり用 認証 1液ウレタン樹脂	N03271	○
		ブルーフロンエコNS	18kgセット(主剤:6kg、硬化剤:12kg) ペール缶および角缶対応	JIS A 6021屋根用ウレタンゴム系高伸長形 立上がり用 認証 2液ウレタン樹脂	N03140	—
		ブルーフロンバリュー NS	20kgセット(主剤:5kg、硬化剤:15kg) ペール缶および角缶対応	JIS A 6021屋根用ウレタンゴム系高伸長形 立上がり用 認証 2液ウレタン樹脂	N03181	—
	目止め用	ブルーフロンエコ目止材	18kgセット(主剤:6kg、硬化剤:12kg) ペール缶および角缶対応	JIS A 6021屋根用ウレタンゴム系高伸長形 共用 認証 2液ウレタン樹脂	N03201	—
超速硬化ウレタン吹付け材	NTスプレー タイプS	390kgセット (A液:182kg、B液:200kg、 トナー:8kg) 35kgセット (A液:16.4kg、B液:18kg、 トナー:0.6kg)	JIS A 6021屋根用ウレタンゴム系 高強度形 高伸長形 共用 認証 2液ウレタン樹脂(トナー着色) 超速硬化タイプ 専用機械使用	N03218	○	
	NTスプレー タイプH	390kgセット (A液:182kg、B液:200kg、 トナー:8kg) 35kgセット (A液:16.4kg、B液:18kg、 トナー:0.6kg)	JIS A 6021屋根用ウレタンゴム系高強度形 共用 認証 2液ウレタン樹脂(トナー着色) 超速硬化タイプ 専用機械使用	N03220	○	
	NTスプレー タイプU	410kgセット(A液:210kg、B液:200kg) 41kgセット(A液:21kg、B液:20kg)	2液ウレア樹脂 超速硬化タイプ 専用機械使用	N03250	○	
ウレタン系保護材	ユータックFエコ	20kgセット(A液:10kg、B液:10kg)	JIS K 5970建築用床塗料 認証 2液ウレタン樹脂系保護材	JIS K 5970 認証	—	
トップコート	溶剤系	ブルーフロンEGトップ4F遮熱	15kgセット(A液:10kg、B液:5kg)	2液溶剤4フッ化フッ素樹脂系 艶あり、遮熱タイプ	—	○
		ブルーフロンEGトップ4F	15kgセット(A液:10kg、B液:5kg)	2液溶剤4フッ化フッ素樹脂系 艶あり	N03223	○
		ブルーフロンEGトップSi	15kgセット(A液:9kg、B液:6kg)	2液溶剤アクリルシリコン樹脂系 艶あり	N03267	○
		ブルーフロンGRトップエコ	16kgセット(A液:12kg、B液:4kg)	2液溶剤アクリルウレタン樹脂系 艶あり	N03210	○
		ブルーフロンGRトップ遮熱	18kgセット(A液:15kg、B液:3kg) 6kgセット(A液:5kg、B液:1kg)	2液溶剤アクリルウレタン樹脂系 艶あり、遮熱タイプ	—	▲
		ブルーフロンGRトップ フッ素	18kgセット(A液:15kg、B液:3kg) 6kgセット(A液:5kg、B液:1kg)	2液溶剤フッ素樹脂系 艶あり	N03183	▲
		ブルーフロンGRトップ	18kgセット(A液:15kg、B液:3kg) 6kgセット(A液:5kg、B液:1kg)	2液溶剤アクリルウレタン樹脂系 艶あり	N03122	▲
		ユータックFT	18kgセット(A液:15kg、B液:3kg) 6kgセット(A液:5kg、B液:1kg)	JIS K 5970建築用床塗料 認証 2液溶剤アクリルウレタン樹脂系 艶あり	JIS K 5970 認証	▲
		ユータックR	18kgセット(A液:15kg、B液:3kg) 6kgセット(A液:5kg、B液:1kg)	JIS K 5970建築用床塗料 認証 2液溶剤アクリルウレタン樹脂系 艶あり	JIS K 5970 認証	▲
	スーパーパラサーモシリコン スーパーパラサーモシリコンS	16kgセット(A液:14kg、B液:2kg)	JIS K 5675屋根用高日射反射率塗料 認証 2液弱溶剤シリコン樹脂系 艶あり	—	▲	
	水系	ブルーフロンエコ水性GRトップ遮熱	11kgセット(A液:10kg、B液:1kg)	2液水性アクリルウレタン樹脂系 艶あり 遮熱タイプ	—	○
		ブルーフロンエコ水性GRトップ	11kgセット(A液:10kg、B液:1kg)	2液水性アクリルウレタン樹脂系 艶あり	N03182	○
		ブルーフロンエコ水性トップ	18kg	1液水性アクリルエマルジョン樹脂系 (無機質系骨材入り) 艶消し 防滑タイプ	N03145	○
		ブルーフロン水性上塗シルバー	15kg	1液水性アクリルエマルジョン樹脂系 シルバー 非歩行タイプ	—	○
		ブルーフロンURトップ	20kg	水性アクリルエマルジョン樹脂系(無機質系骨材入り) 艶消し 防滑タイプ	N03211	○

※1:○=特化則非該当製品:特定化学物質障害予防規則に該当しない製品。▲=エチルベンゼンを含有しているため、屋内で使用する場合は特定化学物質障害予防規則の対象となります。

## 製品一覧②

品種	品名	荷姿	成分、組成、用途、特徴	F☆☆☆☆ 登録番号	特化則 非該当※
補強布	ガラスクロスCAG60	幅1.04m×長さ100m/巻	ガラス繊維織布	—	○
	ブルーフロンアクアクロス	幅1.04m×長さ100m/巻	ガラス繊維補強ビニロン系不織布 ソフトタイプ	—	○
	ブルーフロンソフトクロス	幅1.02m×長さ50m/巻	ポリエステル繊維織布 ソフトタイプ	—	○
	ブルーフロン補強テープV	幅10cm×長さ50m/巻 幅14cm×長さ50m/巻 幅20cm×長さ50m/巻 幅30cm×長さ50m/巻 幅50cm×長さ50m/巻	ポリエステル繊維織布 ソフトタイプのり付き	—	○
通気緩衝 シート	ブルーフロンNT-FタックシートS	厚さ1.5mm×幅1.04m×長さ15.7m/巻 (15㎡分)	ガラス繊維強化改質アスファルト積層シート 自着層付き、重ね張りタイプ	—	○
	ブルーフロンNT-FタックシートS 突き付けタイプ	厚さ1.5mm×幅1.0m×長さ15m/巻 (15㎡分)	ガラス繊維強化改質アスファルト積層シート 自着層付き、突き付けタイプ	—	○
	NTタックシートA	厚さ1.5mm×幅1.0m×長さ10m/巻 (10㎡分)	ガラス繊維ビニルゴム積層シート 自着層付き、突き付けタイプ	—	○
	ブルーフロンNT-Fシート	厚さ3.0mm×幅1.15m×長さ30m/巻 (34.5㎡分)	ポリエチレン繊維+発泡ポリエチレン 突き付けタイプ	—	○
	ブルーフロンNT-Fシート#2	厚さ1.4mm×幅1.0m×長さ25m/巻 (25㎡分)	ポリエチレン繊維 突き付けタイプ	—	○
	ブルーフロンNT-Fシート#2 (フィルム付き)	厚さ1.4mm×幅1.0m×長さ25m/巻 (25㎡分)	ポリエステルフィルム付きポリエチレン繊維 突き付けタイプ	—	○
	ブルーフロンNT-Fパンチシート	厚さ1.4mm×幅1.0m×長さ50m/巻 (50㎡分)	ポリエチレン繊維 穴あき、突き付けタイプ	—	○
ボンド 通気緩衝 シート用	溶剤系 ブルーフロンNT-Fボンド	15kg	クロロプレンゴム樹脂系 両面タイプ	—	○
	無溶剤系 ブルーフロンNT-FエコボンドH	10kg(クシゴテ付き)	1液無溶剤ウレタン樹脂系 片面タイプ	N03184	○
	水系 ブルーフロンNT-F水性ボンド	18kg	水性アクリルエマルション樹脂系 片面タイプ	N03203	○
補助剤	ミルコンMS-2(ダレ止め剤)	5kg	ウレタン防水材用増粘材 粉状タイプ	—	○
	ケミベストFDSS-5	5kg	増粘剤・粉状タイプ	—	○
	液状ダレ止め剤	15kg・4kg	ウレタン防水材用増粘材 液状タイプ	—	▲
	ブルーフロンエコ専用硬化促進剤	4kg・1kg	防水層用硬化促進剤 ブルーフロンエコ、エコNS、エコMIDに使用	—	○
	ブルーフロンエコONEⅡ硬化促進剤	4kg・1kg	防水層用硬化促進剤 ブルーフロンエコONEⅡ、エコONE NSⅡに使用	—	○
	ブルーフロンエコDX・エコHG 共用硬化促進剤	1kg	防水層用硬化促進剤 ブルーフロンエコDX、エコDX NS・エコHG、 エコHG NSに使用	—	○
	ウレタンゴム用硬化促進剤	20kg・4kg	防水層用硬化促進剤 ブルーフロンパリュウ、パリュウNSに使用	—	○
	ブルーフロン溶剤系トップコート 硬化促進剤	1kg	2液溶剤トップコート用硬化促進剤	—	○
	溶剤トップ硬化促進剤×5	1kg	2液溶剤トップコート用硬化促進剤 冬期専用	—	○
	ブルーフロンEGトップ4F専用 硬化促進剤	1kg	専用硬化促進剤 ブルーフロンEGトップ4F、4F遮熱に使用	—	○
	ポータブルマシン用洗浄剤 PGM	16ℓ	洗浄剤	—	○
	ポータブルマシン用充填材	15kg	スプレーマシン、ホース用充填材	—	○
	エストップ#20	12kg	防滑仕上げ用軽量チップ トップコートの防滑用	—	○
	NTマイクロ骨材	1kg	防滑仕上げ用軽量骨材 トップコートの防滑用	—	○
PSパウダー	16kg(4kg×4袋入り)	素地調整 兼 置換泡、膨れ抑制用 添加骨材	—	○	

※：○=特化則非該当製品：特定化学物質障害予防規則に該当しない製品。▲=エチルベンゼンを含有しているため、屋内で使用する場合は特定化学物質障害予防規則の対象となります。

品種	品名	荷姿	成分、組成、用途、特徴	F☆☆☆☆ 登録番号	特化則 非該当※
副資材	NTジョイントテープイエロー	幅50mm×長さ50m/巻 1本単位	PET製テープ 全ての通気緩衝シートのジョイント処理用テープ	—	○
	NTジョイントテープダブル	幅90mm×長さ50m/巻 1本単位	補強布付きPET製テープ 全ての通気緩衝シートのジョイント処理用テープ	—	○
	ブルーフロンNT-F端末テープS	幅75mm×長さ25m/巻 1本単位	ブチルゴム製粘着層付き緩衝用テープ ブルーフロンNT-FタックシートS、NTタックシートA用 端末処理用テープ	—	○
	NTブチルテープ	幅50mm×長さ20m/巻 幅100mm×長さ20m/巻 各1本単位	ブチルゴム製粘着層付きテープ 緩衝用テープ	—	○
	NTブチルテープAL	幅50mm×長さ20m/巻 幅100mm×長さ20m/巻 各1本単位	アルミ箔付ブチルゴム製粘着層付きテープ 緩衝用テープ	—	○
	NT水切りテープ	幅50mm×長さ50m/巻 1本単位	ガラス繊維テープ パラペットアゴ用水切りテープ	—	○
	アルミキャント40	幅30-40-30mm長さ2m×厚さ0.8mm、 10本/箱(10穴/本)	入隅用押さえアルミ金具 機械固定用	—	○
	端末プレート	幅30mm×長さ2m×厚さ3.3mm 20本/箱 (5穴/本)	端末用押さえアルミ金具 機械固定用	—	○
	キャントプレートアンカー 40	つば13mm×長さ40mm 500本/箱	アルミ製アンカー アルミキャント用	—	○
	メカニカルアンカー 40	つば30mm×長さ40mm 500本/箱	アルミ製アンカー 機械固定用	—	○
	メカニカルアンカー 70	つば30mm×長さ70mm 500本/箱	アルミ製アンカー 機械固定用	—	○
	メカニカルアンカー 100	つば30mm×長さ100mm 500本/箱(受注生産)	アルミ製アンカー 機械固定用	—	○
	ダモ脱気筒一般用(丸型)	台座φ190×194mm φ60.5×高さ190mm 2個/箱	耐蝕ステンレス製 脱気装置	—	○
	ダモ脱気筒一般用(丸型)コア付	コア：台座140×140×高さ174mm、 脱気筒：台座φ190×194mm φ60.5×高さ190mm 2組セット単位	耐蝕ステンレス製脱気装置(コア付き) 断熱工法用脱気筒	—	○
	鉛改修ドレン	1個単位	鉛製改修ドレン 縦、横引き共通	—	○
	鉛ドレン用蛇腹	1個単位	塩ビ製蛇腹 締め付けバンド付き	—	○
	ウレタン改修ドレン タテ型(非鉛)	2個/箱	アルミとウレタンゴムの複合材 縦引き用	—	○
	ウレタン改修ドレン ヨコ型(非鉛)	2個/箱	アルミとウレタンゴムの複合材 横引き用	—	○
	目皿	1個単位	アルミ合金ダイカスト製 タテ型、ヨコ型	—	○
	飛散防止改修ストレーナー	2個/箱	アルミダイカスト製 タテ型のみ	—	○
ブルーフロン断熱材	(15ページをご参照ください)	発泡ポリエチレンフォーム 軟質断熱材、断熱工法用シート	—	○	
ブルーフロン硬質断熱材	(11ページをご参照ください)	発泡ポリウレタンフォーム 硬質断熱材、断熱工法用シート	—	○	
ブルーフロン硬質断熱材AL	200枚単位	発泡ポリウレタンフォーム 両面アルミ被覆硬質断熱材、断熱工法用シート	—	○	

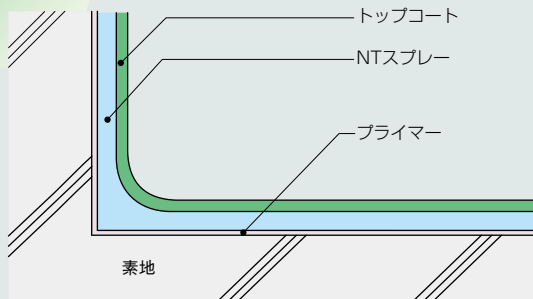
※：○＝特化則非該当製品：特定化学物質障害予防規則に該当しない製品。▲＝エチルベンゼンを含有しているため、屋内で使用の場合は特定化学物質障害予防規則の対象となります。



# 確実な防水効果のために。

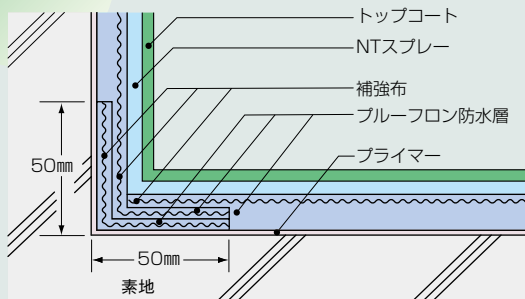
## ■各部位の納まり①

### 入隅



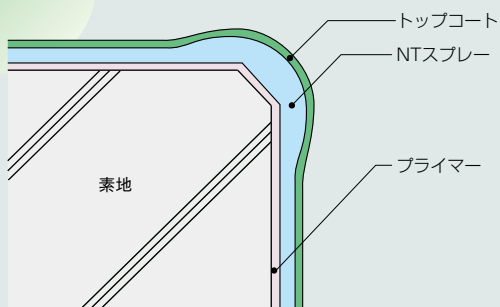
### 入隅

※平場X-2SC工法とX-2SC立上り用工法の取り合い



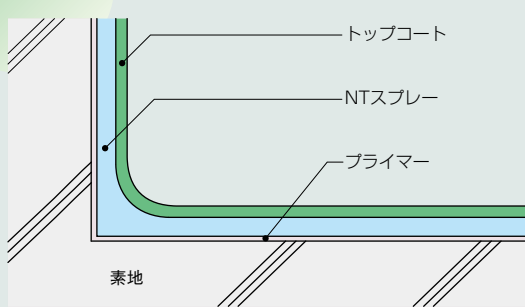
### 出隅

※出隅部は面取りを行なってください。

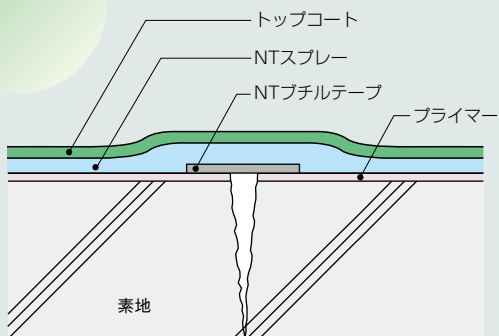


### 入隅

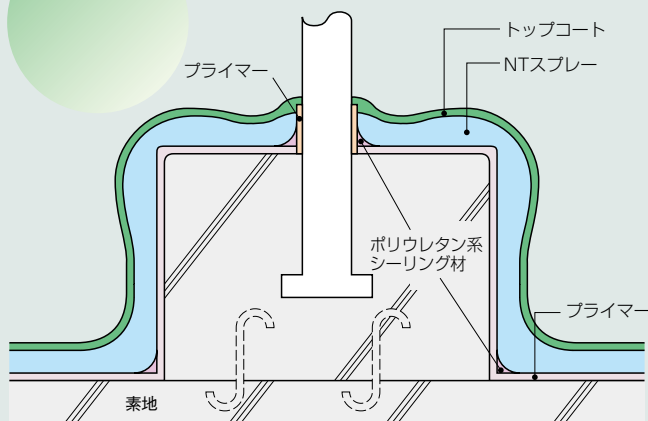
※「標準仕様」以外の工法  
平場X-2SC工法とX-2SC立上り用工法相当の取り合い



### 平場の大クラック

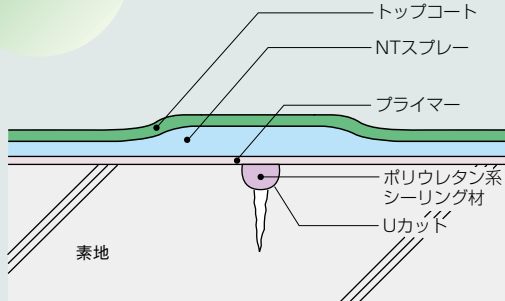


### 架台

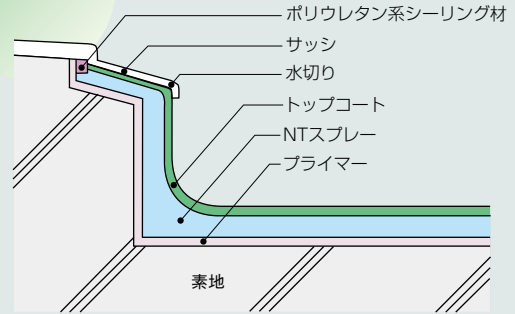


※各部位の納まり図は一般的な例です。すべての施工において適用できるものではありません。

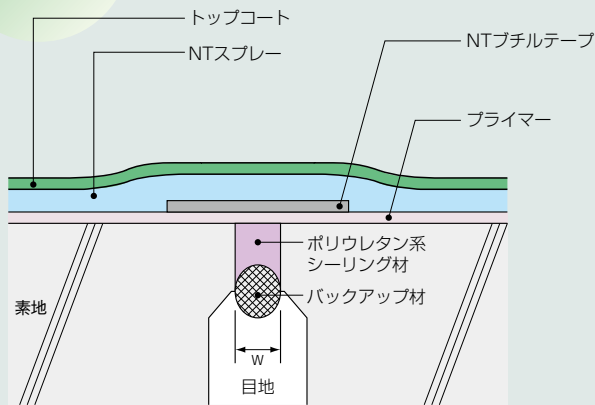
## 平場の中小クラック・立上りのクラック



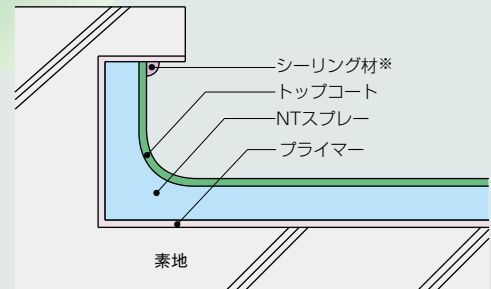
## 壁立上り① (開口部)



## PC板 NM工法 [密着工法]

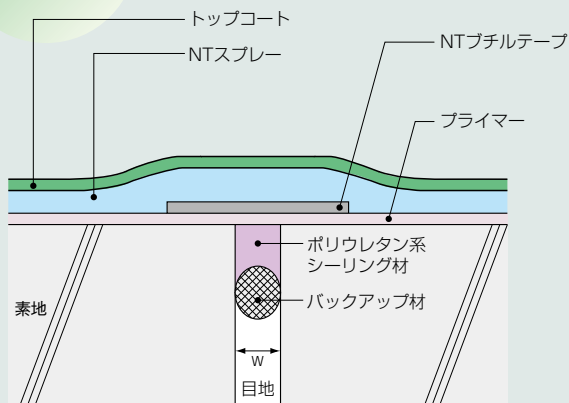


## 壁立上り②



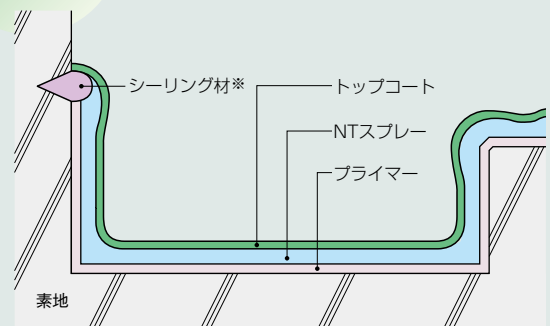
※被覆：ポリウレタン系シーリング材（トップコート被覆処理）  
露出：変性シリコン系シーリング材

## 保護モルタル下地 NM工法 [密着工法]



## 庇部補修納まり例

※壁面は笠木より高く立上げてください。  
※VカットまたはUカット後にポリウレタン系シーリングで処理してください。

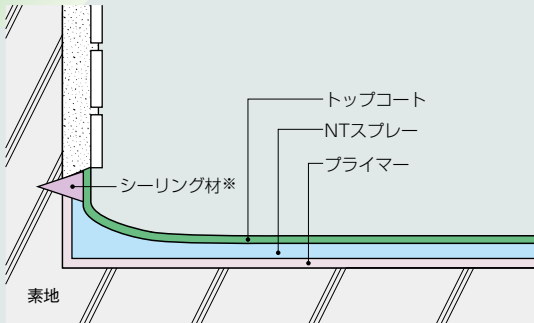


※被覆：ポリウレタン系シーリング材（トップコート被覆処理）  
露出：変性シリコン系シーリング材

## ■各部位の納まり②

### 磁器タイル壁面補修納まり例

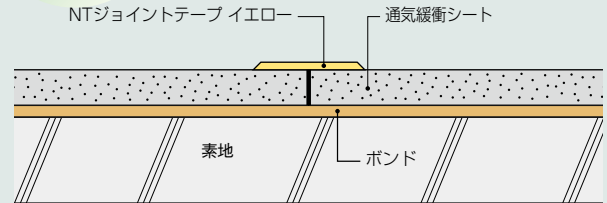
- ※磁器タイルを数枚剥がし防水材を立上げてください。
- ※VカットまたはUカット後にポリウレタン系シーリングで処理してください。



- ※被覆：ポリウレタン系シーリング材（トップコート被覆処理）
- 露出：変性シリコン系シーリング材

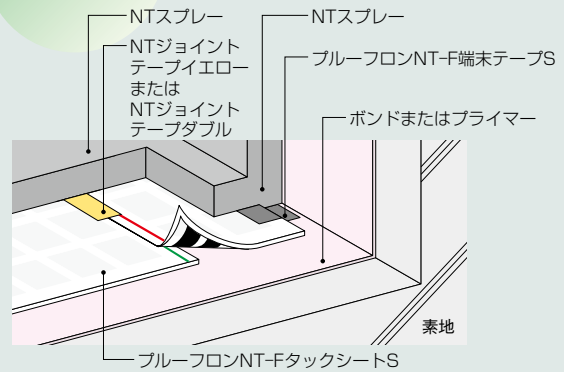
### シート間の接続

- 使用シート：ブルーフロンNT-Fシート、ブルーフロンNT-Fシート#2

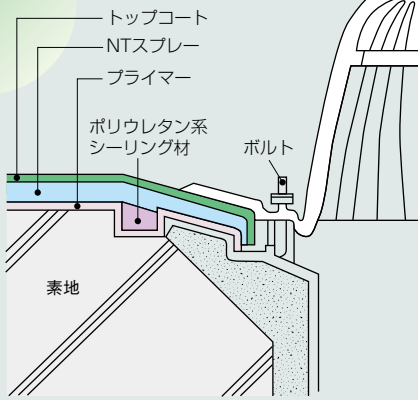


### シート間の接続

- 使用シート：ブルーフロンNT-FタックシートS

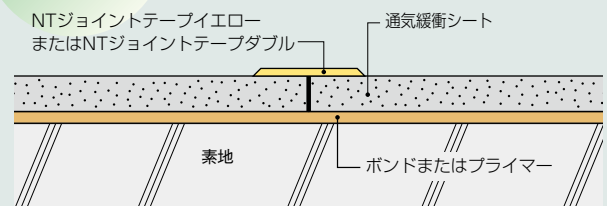


### ドレンまわり

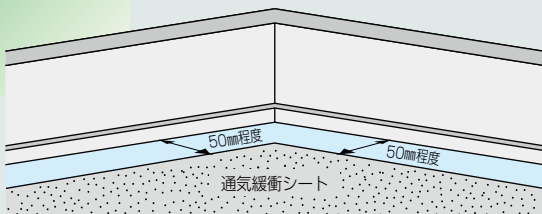


### シート間の接続

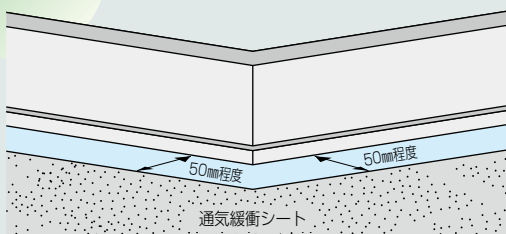
- 使用シート：NTタックシートA



### 入隅



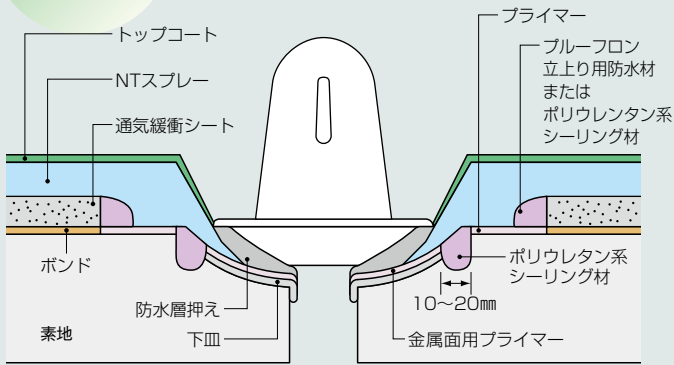
### 出隅



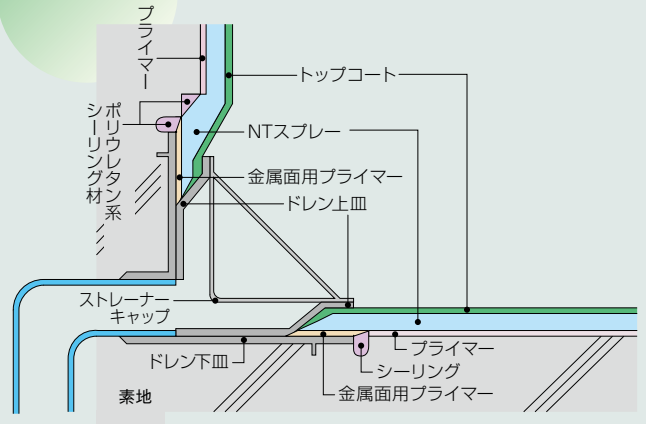
※各部位の納まり図は一般的な例です。すべての施工において適用できるものではありません。

## ドレンまわり (タテ引きドレン)

- 使用シート：ブルーフロンNT-Fシート、ブルーフロンNT-Fシート#2

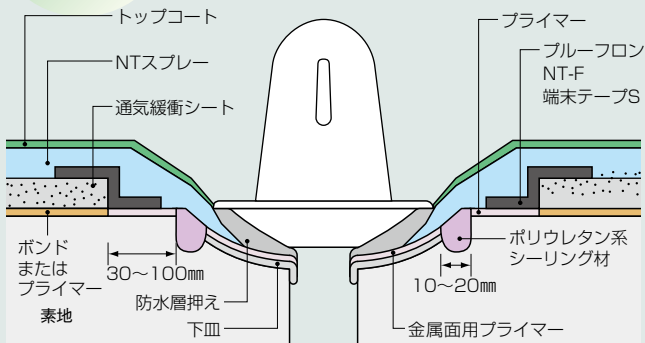


## ドレンまわり (ヨコ引きドレン)



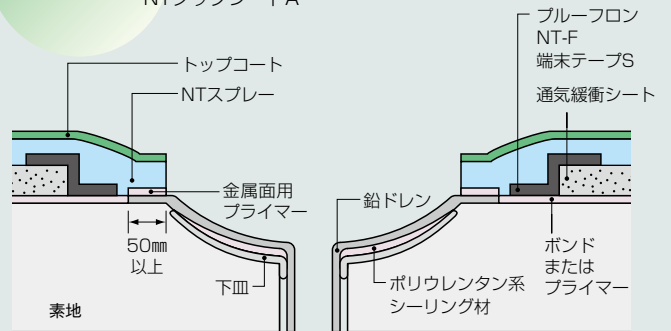
## ドレンまわり (タテ引きドレン)

- 使用シート：ブルーフロンNT-FタックシートS、NTタックシートA



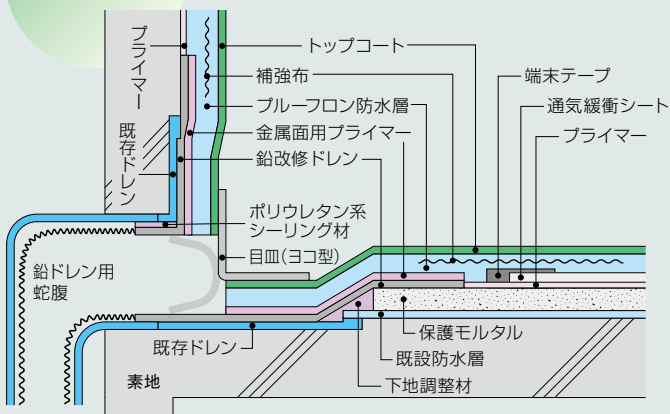
## ドレンまわり (鉛改修ドレン)

- 使用シート：ブルーフロンNT-FタックシートS、NTタックシートA



## ドレンまわり (鉛改修ドレン:ヨコ引き)

立上りアスファルト撤去

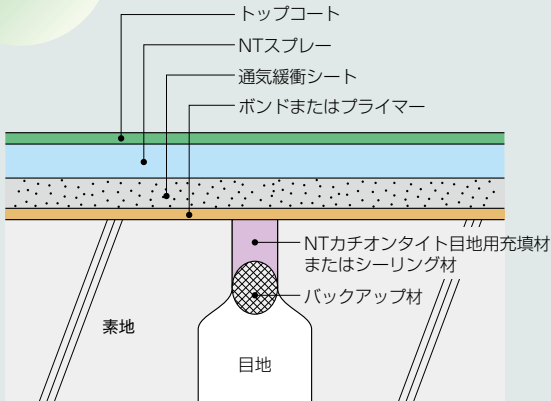




## ■各部位の納まり③

### PC板

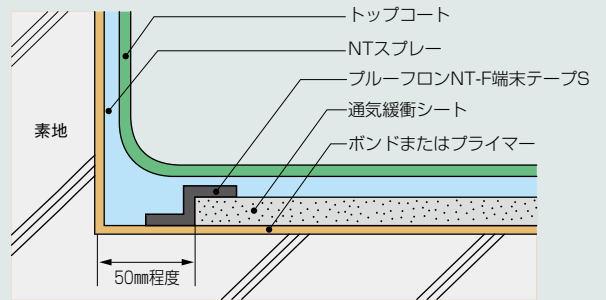
#### NN工法[通気緩衝工法]



### 壁立上り④

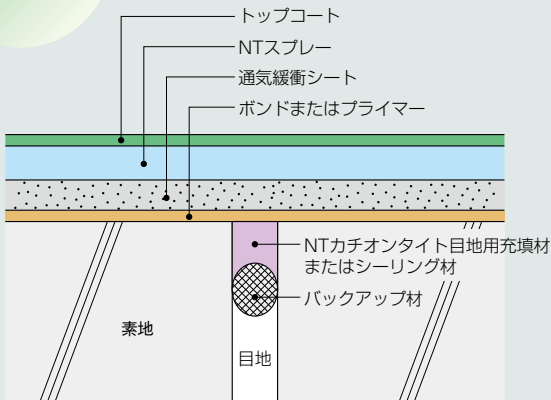
※平場X-1S工法とX-2S立上がり工法相当の取り合い

●使用シート：ブルーフロンNT-FタックシートS、NTタックシートA



### 保護モルタル下地

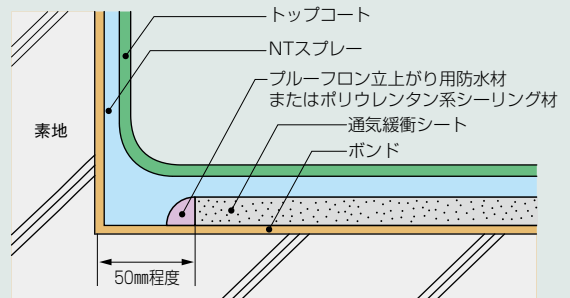
#### NN工法[通気緩衝工法]



### 壁立上り⑤

※「標準仕様」以外の工法  
平場X-1S工法とX-2S立上がり工法相当の取り合い

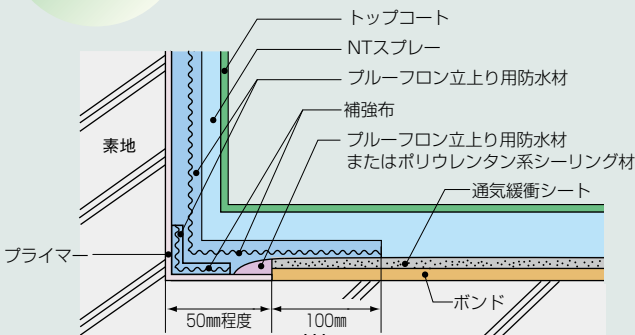
●使用シート：ブルーフロンNT-Fシート、ブルーフロンNT-Fシート#2



### 壁立上り③

※平場X-1S工法とX-2SC立上がり工法の取り合い

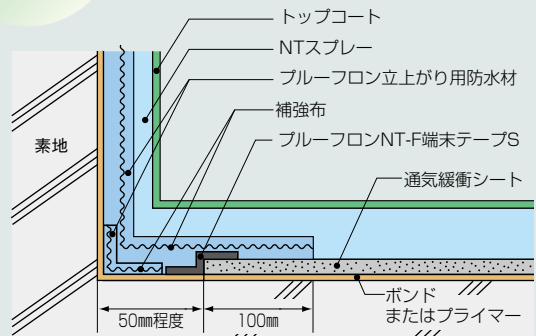
●使用シート：ブルーフロンNT-Fシート、ブルーフロンNT-Fシート#2



### 壁立上り⑥

※平場X-1S工法とX-2SC立上がり工法の取り合い

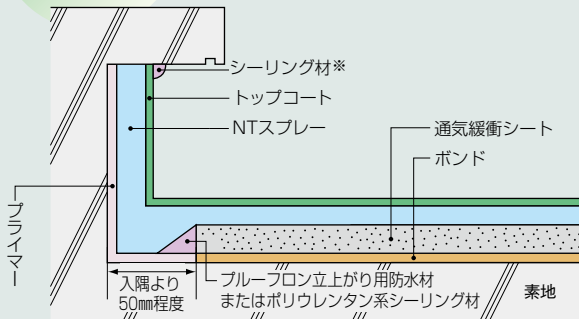
●使用シート：ブルーフロンNT-FタックシートS、NTタックシートA



※各部位の納まり図は一般的な例です。すべての施工において適用できるものではありません。

## 立上り部 NN工法[通気緩衝工法]

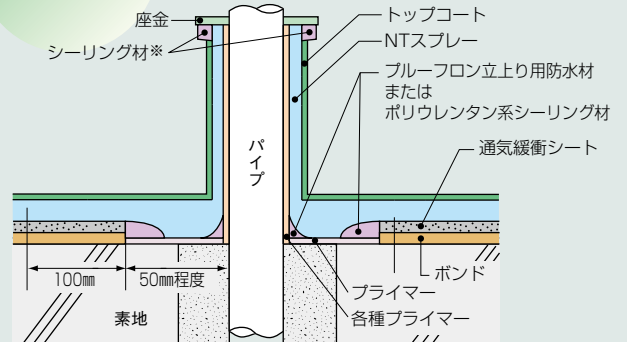
●使用シート：ブルーフロンNT-Fシート、ブルーフロンNT-Fシート#2



※被覆：ポリウレタン系シーリング材（トップコート被覆処理）  
露出：変性シリコン系シーリング材

## パイプまわり

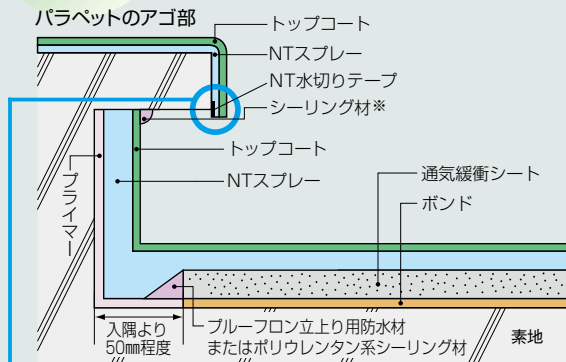
●使用シート：ブルーフロンNT-Fシート、ブルーフロンNT-Fシート#2



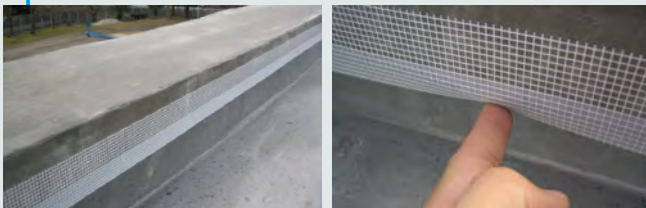
※被覆：ポリウレタン系シーリング材（トップコート被覆処理）  
露出：変性シリコン系シーリング材

## 立上り部 NN工法[通気緩衝工法]

●使用シート：ブルーフロンNT-Fシート、ブルーフロンNT-Fシート#2

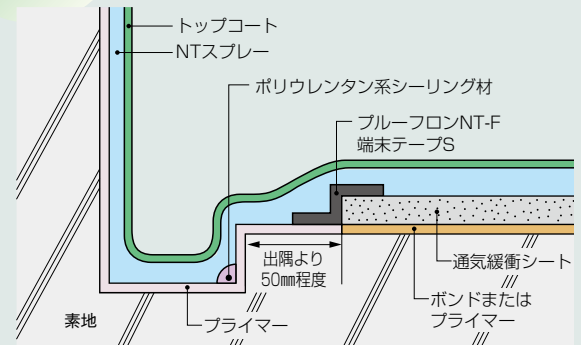


※被覆：ポリウレタン系シーリング材（トップコート被覆処理）  
露出：変性シリコン系シーリング材



## 側溝と立上り NN工法[通気緩衝工法]

●使用シート：ブルーフロンNT-FタックシートS、NTタックシートA



## 各部位の納まり④

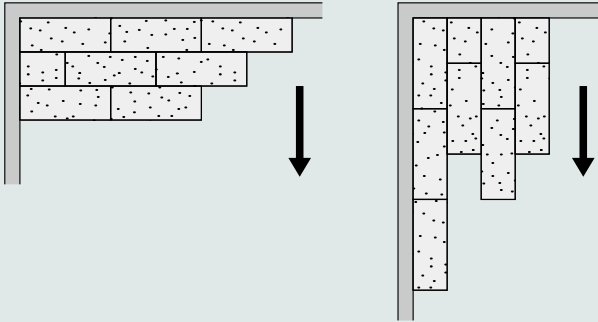
※各部位の納まり図は一般的な例です。すべての施工において適用できるものではありません。

### 各種断熱材の敷並べ図

ND工法[断熱・遮熱工法]

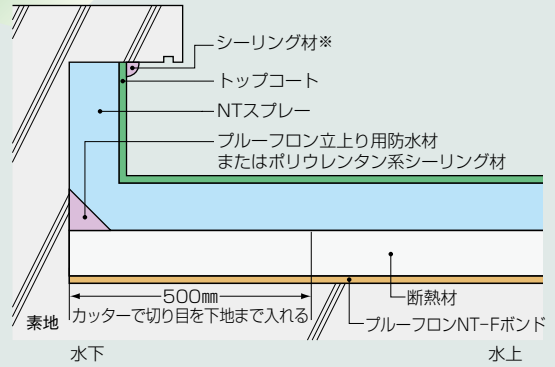
NKD工法[機械的固定・断熱・遮熱工法]

※各種硬質断熱材の併せ部は3～5mmの隙間を設けてください。



### 立上り部

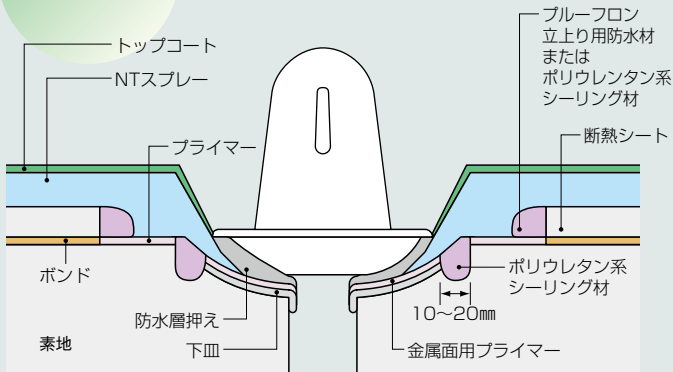
ND工法[断熱・遮熱工法]



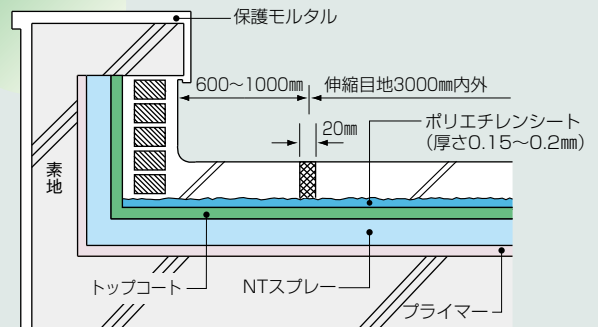
※被覆：ポリウレタン系シーリング材（トップコート被覆処理）  
露出：変性シリコン系シーリング材

### ドレンまわり

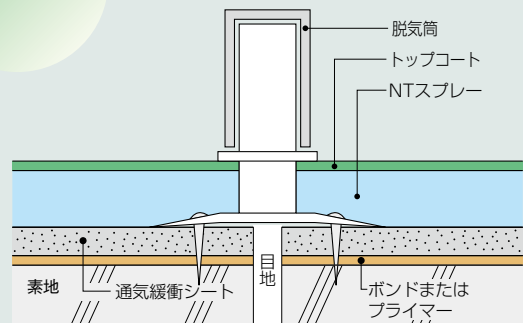
ND工法[断熱・遮熱工法]



### 保護モルタル押さえ



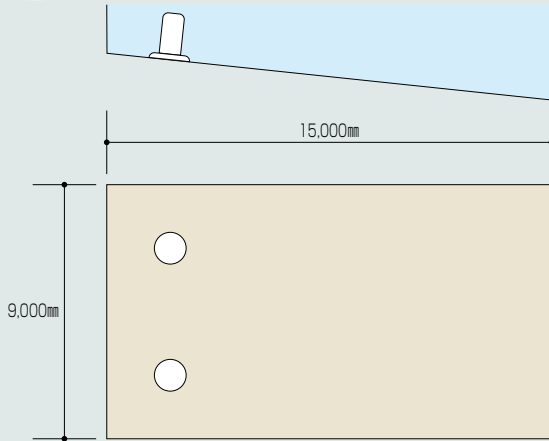
### 脱気筒まわり



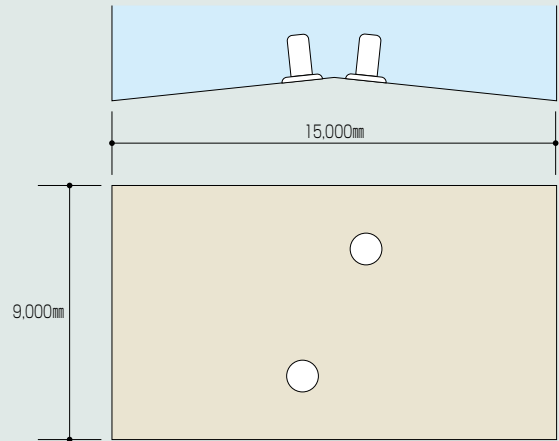
# 脱気筒の施工

## 脱気筒の設置例 (50~100㎡に1カ所)

### ■片流れ勾配



### ■両流れ勾配



■注意事項 ●1日のうちでもっとも長い時間日光の当たる場所の、いちばん高い位置に設置してください。

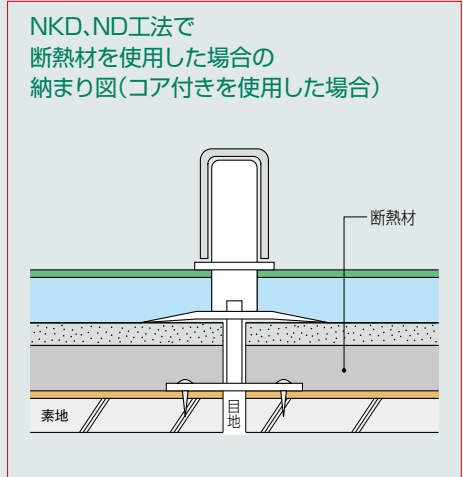
## 脱気筒施工の工程

1 通気緩衝シートを貼ったあと、脱気筒をビスで固定してください。その後、脱気筒の下部全体にプライマーを施工してください。

2 各種の防水施工を行なってください。

3 脱気筒と接合する防水層末端部分をシーリング材、ステンレスワッシャーを取り付けてください。

4 外筒が回らないように固定しながら、上蓋を締めてください。



■注意事項 ●外筒の取り付け方向に注意し、上蓋を締めながら固定してください。  
●各リングの取り付け位置に注意してください。



# 注意事項

## ■下地条件・処理について

現場打ちのコンクリートは、設計基準強度を満たしていることが条件です。

- コンクリート打設後の降雨などで強度が著しく低下している場合は、ハツリ撤去のうえコンクリートを打ち直すなどの処置をして強度を復旧させてください。
- 下地が十分に乾燥していることを確認してください。
- コンクリート打設後の養生は充分に行なってください。
  - ・コンクリートの場合の目安……夏期(打設後3週間以上)、冬期(打設後4週間以上)
  - ・モルタルの場合の目安……夏期(打設後2週間以上)、冬期(打設後3週間以上)
- ※デッキプレートなどに打設した場合は乾燥が遅れますので、さらに乾燥養生が必要となります。
- 高圧水洗浄後は十分に乾燥させてください。また、保護モルタル仕様の場合、押さえコンクリート内に残留水分があるため冬期の施工では特に注意してください。
- 施工面は金コテ押さえとし、施工前はポリッシャーや機械研削を行なってください。
- 平場のコンクリートは平滑で、浮き、レイトンスなどの脆弱部および突起物などの欠陥が無い良好な下地であることを確認してください。
- ジャンカ・目違い・段差・巣穴はNTスプレーの仕上がりに影響するため凹凸や段差を無くしてください。NTスプレーは、下地の表面状態を反映しますので、出来る限り平滑にしてください。
- 立上りは、凹凸の少ない平滑面とし、凹凸や不具合も平場と同様の処置を施してください。また、立上り端部および軒先部の水切りを良くし、雨仕舞いの納まりを確認してください。
- ポリマーセメントモルタルを使用する場合は、プライマーの塗布やウレタン塗膜の硬化収縮による破壊・剥離に耐え得るよう、高い付着強度と耐溶剤性を有する材料(NTカチオンシリーズなど)を使用してください。
- 下地は清掃を入念に行ない、プライマーやボンドの接着の妨げとなる塵埃、油脂、汚れ、サビなどが無いことを確認してください。
- 防水を施工する下地は、水が溜まることなく速やかに排水されることを確認してください。また、できるだけ速やかに排水される処置を施してください。
- 水勾配は1/100以上とします。
- 既存塗膜および下地に藻類・かびの発生がある

- 場合には、完全に除去してください。付着力の低下につながります。藻類・かびの除去に薬剤を使用した場合は、完全に洗い流してください。塗膜の付着力や変色など耐久性に影響します。
- 被塗面の洗浄やエフロレッセンスの除去に酸性洗浄剤・アルカリ性洗浄剤などの薬剤を用いた場合、薬剤洗浄後の水洗は、高圧水洗機もしくはブラシなどを用いて入念に行なってください。薬剤が被塗面に残存したまま施工すると防水塗膜の縮み、白化、剥離を引き起こす恐れがあります。
- 高圧水洗浄ができない場合はホースで水を流しながらブラシなどを使用し、塵や埃、かび、藻類などを完全に除去してください。
- 出入隅の形状は、入隅は通り良く直角に、出隅は隅の隅R面や45°面で5mm程度以上(推奨値15~30mm程度)の面取りで仕上げてください。
- 立上り端部や軒先部の納まりは水切りが良好であることを確認してください。
- 防水層に支障のあるひび割れ・打ち継ぎに適切な処理を行なってください。
- 下地の1.0mm未満の小さいひび割れは、ポリウレタン系シーリング材やブルーフロン防水材(手塗り立上り用)を擦りこんでください。ただし、通気緩衝シート仕様を採用する場合は除きます。
- 1.0mm以上のひび割れはUカットしてポリウレタン系シーリング材もしくはブルーフロン防水材(手塗り立上り用)を充填し、ブルーフロン防水材(手塗り)と各種補強布(ガラスクロスCAG60、ブルーフロン補強テープVなど)を用いて補強塗りを行なってください。ただし、通気緩衝シート仕様を採用する場合は除きます。
- 誘発目地・化粧目地には予めポリウレタン系シーリング材を充填しておき、ブルーフロン防水材(手塗り)と補強布の増し張りを施してください。ただし、通気緩衝シート仕様を採用する場合はこの限りではありません。
- 伸縮目地の旧目地材は撤去して、適切な処理をしてください。
- 化粧目地に大きな段差や凹凸がある場合はサンダーで削るか、NTカチオンシリーズなどのポリマーセメントモルタルで埋めてください。
- 化粧目地には、ポリウレタン系シーリング材やNTカチオンシリーズなどのポリマーセメントモルタルを充填し平滑にしてください。
- 下地の動きにより防水層にひび割れが入る場合がありますので、事前に構造などについて施工

- 依頼者様と打ち合わせて仕様決定をしてください。
- 防水材を施工する金属部分は、汚れ・油脂類・サビなどを除去し、脱脂処理した後、各種金属用プライマー(エポラオールプライマー、エポラ#3プライマー、NT金属用プライマーECOなど)を施工してください。
- 金属部分とモルタル部との取り合い部分は、Uカットをしてハツリ、ポリウレタン系シーリング材を充填してください。
- 固定の金属などは、固定不良が無いことを確認し、挙動が大きいと思われる箇所については、絶縁処理もしくは補強布による増し張りを施してください。
- 金物関連の取り合いで適切な雨仕舞いができることが必要です。適切な処理を行なってください。
- 金属製貫通パイプの場合は、100mm位までサビなどを除去し、各種金属用プライマー(エポラオールプライマー、エポラ#3プライマー、NT金属用プライマーECOなど)を使用してください。樹脂パイプの場合は、目粗しを行ない専用プライマーを使用してください。
- 配管及び配線が防水施工に支障が無いことを確認してください
- 設備配管・スリーブ・取付金具などは、所定の位置に堅固に固定されていることを確認してください。
- ドレンやその周りの泥土やゴミ、藻類、植物などは、防水施工時は完全に除去してください。
- ドレン部は、増し塗りしても排水できるように低めに勾配をつけてください。また、ドレン廻りの勾配が悪い場合は速やかに排水されるよう処置を行なってください。
- 改修用ドレンはウレタン塗膜防水用を使用し、塗りかけ幅を100mm以上確保してください。
- 設備関連のコンクリートの基礎は原則「躯体一体型」とし、防水層の上に乗せることは極力避けてください。
- コンクリート架台の下部に隙間がある場合はシーリングの充填を行なってください。
- 劣化しているシーリング材は撤去し、打替えを行なってください。
- 防水層に影響しないように、シーリング材の種別選択は適切に行なってください。
- 防水層端部・金物の取り合いなど、必要に応じて適切にシーリングが施工されていることを確認してください。

## ■工法上の注意事項

### ■共通

- 各工法の使用量は表記以外にも変更可能です。
- プライマーやトップコート、接着剤は「ブルーフロンシリーズ」総合カタログをご参照ください。
- NTスプレーは希釈せずに使用してください。
- 特化則非該当・環境配慮仕様にする場合は、特化則対応・環境配慮品のプライマー、ボンド、トップコートをご使用ください。
- 必要に応じ、脱気装置の設置を行なってください。
- 作業手順は標準仕様書をご参照ください。
- 入隅や出隅などの各部位の処理、通気緩衝シートの張り方や脱気筒の取り付けにつきましては29~36ページをご参照ください。また、公共建築工事共通仕様書やJASS8、ウレタン塗膜防水ハンドブック(日本ウレタン建材工業会)なども併せてご参照ください。
- 外断熱工法の施工や既設防水層に断熱板が設置されている場合、施工現場が湖沼や河川の近く

- である場合、また夜間の気温が下がる時期は結露が生じやすくなります。とくにトップコートの「艶引け(乾燥硬化前に水分の影響による現象)」を避けるため、午後からの塗布作業には充分注意してください。
- ホースの全長に見合った場所にスプレーマシンと材料を確保し、飛散対策の養生を充分に行ない施工してください。
- 施工中は、空調設備・換気設備の運転を停止し、吸気口等からの室内への流入を防止してください。
- NTスプレーの施工前には、スプレーマシン内(シリンダーポンプおよびホース)に残っている材料や古い材料の入替えを必ず行なってください。
- NTスプレーの施工前には必ず設定温度まで加温して適正な粘度と吐出量(吐出圧:吹付け施工中はA剤とB剤の吹付け圧力差が1MPa以内であることを確認してください)に調整して

- ください。
- NTスプレーの施工前には、試し吹きを行ない適切にスプレーマシンが稼働することを確認してください。
- NTスプレー施工後は、48時間以内にトップコートを施工してください。ただし、床防水用途として使用頻度が高く、塗膜に負荷がかかりやすい駐車場(NC工法)や競技場スタンド(NS工法)においては、当日のうちにトップコートを施工してください。
- NTスプレーを2回に分けて施工する際の施工間隔が48時間以上となった場合は、ブルーフロンプライマーUをウレタンシンナーで希釈したものを、またはブルーフロン塗り替えプライマーを層間に施工してください。
- NTスプレーは「エンボス仕上げ」となります。
- 下地の不陸の影響により、仕上りが平滑にならない場合があります。
- 超速硬化するNTスプレーは、下地凹凸やシート

ジョイント、テープなどの形状が出やすい傾向にあります。

●既設防水が外断熱工法の場合は熱による影響を受け通常より劣化が助長されるため、高反射系のトップコートを選定してください。

●粗面仕上げにする場合は「エストップ#20」「エストップ#40」「NTマイクロ骨材」のいずれかを添加してください。ただしいずれも防滑性能を保証するものではなく、降雨後などで水が防水層表面にある場合には滑ることがありますのでご注意ください。

●粗面仕上げのトップコートは表面に微細な凹凸ができるためホコリが滞留しやすくなります。

●防水工事の施工現場・足場内・資材置き場などは危険が伴うため、立ち入らないでください。

●防水材料、洗浄材料には有機溶剤を含有している物もありますので、材料や工具には近寄ったり、手を触れたりしないでください。また、施工中は臭気が発生する場合もあるため、その期間中は窓を閉める等、できるだけ作業外気との接触を避けるようご協力をお願いします。

#### ■通気緩衝工法関係(PN工法・PSN工法)

●ブルーフロンNT-Fシート、ブルーフロンNT-Fシート#2、ブルーフロンNT-Fパンチシートは張り付ける際、降雨や夜露にあうとシートが水分を含みます。必ずウレタンゴム系塗膜防水材料1層目を施工し、雨仕舞いを行なったうえで作業を終了してください。また、ブルーフロンNT-FタックシートS、ブルーフロンNT-Fシート#2(フィルム付き)、NTタックシートAについてもシート端部の雨仕舞いを行なってください。

●ブルーフロンNT-FタックシートS、NTタックシートAの張付け後は、必ず転圧ローラーで充分転圧を行なってください。

●ブルーフロンNT-FタックシートSの重ね部は赤いラインが上となります。

●隣り合うシートは短手のジョイントの位置を揃えないようにすらしてください。

●ブルーフロンNT-Fパンチシートにブルーフロンエコ目止材を使用した場合、ブルーフロンエコHGやエコDXは使用できません。このため、ブルーフロンエコHGやエコDXを増粘させてご使用になるか、ブルーフロンエコHG NSやエコDX NSをご使用ください。

●ブルーフロンNT-FタックシートSやNTタックシートAは張付け後、浮かないようにするために転圧ローラーにて充分転圧してください。

●通気緩衝シートは、浮きやシワがなく、また、シート間の隙間が大きにならないように施工してください。

#### ■機械固定工法関係(PK工法・PKD工法)

●ブルーフロンNT-FタックシートSの重ね部は赤いラインが上となります。

●隣り合うシートは短手のジョイントの位置を揃えないようにすらしてください。

●下地の状態やALC下地の場合など、現地で測定したメカニカルアンカーの引き抜き強度が充分でない場合は別途、最寄りの営業所へお問い合わせください。

●アンカーの穿孔は、適切な径や深さにて垂直になるように行ない、その時に発生する切粉は掃除機などで除去してください。

●PK工法はメカニカルアンカーを用いた特殊な

工法となります。防水層が薄い場合、メカニカルアンカーの跡が目立ちやすいため、防水層の膜厚は3mm厚以上を必ず確保してください。

●メカニカルアンカーの取り付け方法についてはブルーフロンシリーズのカタログをご参照ください。

●アンカーの固定強度だけでは不十分な箇所は、必要に応じてボンドを併用してシートを固定してください。

#### ■断熱工法関係(PD工法・PKD工法)

●ステンレス脱気筒は、専用コア付きタイプが必要となる場合があります(詳細は最寄りの営業所へお問い合わせください)。

●トップコートは遮熱タイプをご使用ください。

●トップコートの色相に淡彩色(ライトグレー、ライトグリーン、ライトブルー、ホワイト)を選定した場合、隠蔽性確保のため2回塗りとなる場合があります。

●断熱工法を施工する場合、夜間の気温が下がる時期は結露が生じる可能性があります。特にトップコート塗装は早めに行ない、夜間までの養生時間を長くってください。

#### ■改修工法

●既存ウレタン塗膜防水層の種類や劣化状況によっては、NTスプレーによる塗り重ね改修工法ができない場合があります。

●改修工事の場合、既存ウレタンゴム系塗膜防水材料の種類によっては溶剤などの影響により既存塗膜を侵しリフティング(塗膜のチヂレ)やフクレが発生する場合がありますので、既存塗膜を必ず確認のうえ施工仕様を決定してください。

## ■製品の取り扱い注意事項

●塗料は必ず、指定材料を使用し秤を用いて規定配合比で調合のうえ、充分に攪拌後施工してください。他の塗料との混合は絶対に行なわないでください。

●環境配慮仕様時には、指定された材料や専用の希釈剤をご使用ください。

●プライマーやウレタン塗膜防水材料、トップコート、補助剤などは、「ブルーフロンシリーズ 総合カタログ」の53~59ページをご参照、ご確認いただき適切な材料を選択してご使用ください。

●環境配慮仕様時には、指定された材料や専用の希釈剤をご使用ください。ブルーフロンエコHGやエコHG NSはブルーフロンエコDX、エコDX NS、ブルーフロンエコONE、エコONE NS、NTスプレー各種以外の防水材とは直接付着しませんのでご注意ください。

●スプレーマシンに使用する洗浄剤や充填剤は、施工前に充分にホース内から取り除き、残留のないようにしてください。

●塗料の調合、施工間隔、可使時間、使用量など塗装仕様は守って施工してください。なお、可使時間や施工間隔は、気温や材料温度に起因し変わります。夏場は特に短くなりますのでご注意ください。

●規定の使用量が塗られていないと、塗膜性能が発揮されない場合があります。決められた使用量を必ず守ってください。

●プライマー施工後、次工程までの施工間隔を過ぎた場合、付着不良の原因となります。特に夏場は施工間隔が短くなります。施工間隔を過ぎた場合、プライマー表面を充分に研磨し、シンナー拭き後、プライマーを施工してください。

●著しい高温、高湿下、もしくは気温が5℃未満

の場合での施工は避けてください。

●降雨や降雪、降霜、夜露などが想定される場合は、施工を行なわないでください。ウレタンゴム系塗膜防水材料の施工後にこれらの水分に曝された場合、施工する表面をよく清掃し、シンナー拭き後に次の工程を行なってください。施工間隔があいた場合は、NTエコプライマーUをブルーフロンエコシンナーにて倍希釈したもの、もしくは、ブルーフロン塗り替え用プライマーの塗布を行ってから次工程へ進めてください。

●冬期は硬化速度が遅くなります。施工間隔に充分注意してください。

●塗料を調合する際は、あらかじめ塗料を均一になるように攪拌してから、秤を用いて計量、塗料の調合を行なってください。小分けして使用する際も同様に行なってください。

●塗料の液相分離が見られる場合は、攪拌機を使用し充分に攪拌してください。

●塗料の種類に合わせて、適切な攪拌機を選定してください。ウレタンゴム系塗膜防水材料の攪拌は出力の大きい攪拌機を低速にして泡を巻き込まないように攪拌してください。回転数が速かったり、攪拌時間が長かったりすると泡を巻き込み、泡跡やピンホールの発生など仕上りが悪くなる場合があります。羽の形状によっても泡の発生につながります。

●一度調合した塗料は必ず可使時間内に使い切るようにしてください。可使時間を過ぎた塗料の使用は行なわないでください。

●塗料の過剰希釈は硬化不良や硬度低下、仕上り不良などが発生しやすく、正常な塗膜物性が得られず耐久性に影響します。規定内の希釈量で塗装してください。

●計量・混合攪拌する作業場所は、養生シートを

敷き、材料がこぼれたら直ちに除去してください。缶の底に未混合の材料が付着し、施工面に付着した場合、その部分が硬化不良となります。

●手塗りの2液ウレタン塗膜防水材料は、混合した後は直ちに施工面に塗面積に対して適切な量を流し、塗り広げてください。缶中にて放置していますと発熱反応により缶中の温度が上昇し可使時間が短くなります。

●プライマーは各種選択可能です。下地の状況に応じてプライマーを選定してください。

●プライマーは塗り残しの無いように塗装してください。風化面、吸込みの多い下地の場合には、プライマーを増し塗りしてください。

●プライマーは下地の状況により、使用量が規定量以上になる場合があります。プライマーの使用量は塗れ色になるまでを目安としてください。

●プライマーは、一度に厚塗りせず、たまりができないように施工してください。一度に厚塗りますと塗膜のフクレや発泡の原因になります。また、たまりができる剥離の原因になります。

●硬化が不十分の状態での次工程の施工をすると溶解やリフティング(塗膜のチヂレ)が発生する場合があります。硬化乾燥していることを確認してから次工程へ進めてください。

●下地に勾配がある場合、施工した塗料が流れたり、硬化途中で塗膜のスレやシワが発生したりする場合があります。勾配がある面に施工する場合は、ダレ止め剤(ミルコンなど)などを使用して流れないように粘度調整を行なってください。

●特定化学物質障害予防規則の対象となる塗料は、同規則に従い作業主任者を選任するなどの法令遵守をお願いします。

## ウレタンゴム系塗膜防水材 ご使用上の注意事項

- 防水層は可燃物ですので、火気は絶対に使用しないでください。また、煙草の吸殻の投げ捨てや花火なども厳禁です。
- 防水層の上に灯油や溶剤、不凍液などをこぼした際は直ちに除去してください。防水層が軟化し、フクレや剥離が生じます。
- 防水層の上に人工芝を施工することはお勧めいたしません。ご使用になる場合は「置き式」の方法をとってください。
- 防水層の上で重い箱などを引きずったり、角の鉄材などの損傷を与える物を落としたりしないでください。防水層の剥離や損傷を受けます。
- 防水層の上では、防水層を損傷する恐れのある履物(ハイヒールやスパイクシューズなど)での歩行はしないでください。
- 防水層の上に椅子やテーブルなどを置く場合、脚をゴムキャップなどで保護してください。また、長期間にわたり重量物を設置する場合は養生ゴム板(3mm程度)や角を丸くしたベニヤ板などを下に敷いてください。同様に高熱を発する器具や物などを直接設置しないでください。また、カッターなどの鋭利なもので傷をつけないでください。
- 防水層の上でゴルフの練習や一輪車、ローラースケートなどの練習は止めてください。クラブや車輪で防水層を傷つける恐れがあります。
- 防水層の一般的な汚れの清掃の際は中性洗剤(クレンザーは不可)を使用の上、モップなどで行なってください。また、清掃の際には水で濡れていますので、スリップなどによる転倒事故に充分注意してください。
- 防水層の上に醤油や酢などをこぼした場合は床面に染みつきやすいので、直ちに拭き取って水洗いを行なってください。
- 防水層の上にマジックインキなどの油性筆記具で書かないでください(防水層面に染みつきやすく取れません)。また、防水層の上では塗料や強いアルカリ性や酸性の薬剤、洗剤は使用しないでください。
- 防水層の上で動物を飼育しないでください。
- クーリングタワーの防藻剤や殺菌剤などの種類によっては、防水層に損傷を与えますので注意してください。

\* 製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

**【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】**

## 日本特殊塗料株式会社

■代理店

### ■お問い合わせ先

東京営業所 〒114-8584 東京都北区王子3-23-2	☎(03)3913-6203 FAX(03)3913-6323
神奈川営業所 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10	☎(0463)23-2135 FAX(0463)23-3739
中部営業所 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木12	☎(0566)81-8111 FAX(0566)81-8124
大阪営業所 〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12	☎(06)6386-8492 FAX(06)6338-3560
中四国営業所 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13	☎(082)423-8231 FAX(082)423-8256
九州営業所 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726	☎(0942)89-5766 FAX(0942)89-5762

● 日本特殊塗料ホームページ <https://www.nttoroy.co.jp/>